

— 平成 31 年度 —

事業報告書

社会福祉法人

四日市市社会福祉協議会

目 次

◎ 会務報告	1
--------	---

◎ 総括	3
------	---

総務課

1. 法人運営事業	4
(1) 第5次四日市市地域福祉活動計画の推進と第6次四日市市地域福祉活動計画の策定	
(2) 職員研修の実施	
(3) 福祉サービス相談窓口の開設	
(4) BCP（事業継続計画）の推進	
(5) 団体活動支援	
2. 市民啓発事業	6
(1) 社協だより「かけはし」の発行	
(2) 四日市市社会福祉大会の開催	
(3) ホームページの更新	
3. 資金貸付事業	7
(1) 生活福祉資金貸付事業の実施	
(2) 資金貸付事業の実施	
4. 財源確保	8
(1) 財政基盤の安定化	
① 社会福祉協議会会費	
② 善意の基金	
③ 寄付金等	
④ 資産運用	
(2) 共同募金運動（三重県共同募金会四日市市共同募金委員会事業）の推進	
(3) 収益事業	
① 「喫茶ふれあい」の経営	
② 「総合会館売店」の受託運営	
5. その他の福祉事業	10
(1) よっかいち福祉の店	
(2) 生活困窮者支援事業	
(3) 実習生等の受け入れ実績（総数）	
6. 職員の安全衛生事業	11

地域福祉課

1. ふれあいのまちづくり事業	
(1) 地区社会福祉協議会支援	12
① 地区社協への運営費等の助成	
② 地区社協指導者研修会等の実施	
③ 福祉協力員等活動費補助事業の実施	
④ 地域福祉活動メニュー事業の実施	

(2) 地域コミュニティの推進	20
①生活支援コーディネーター	
②四日市市小地域福祉活動事業（拠点事業）の実施	
③ふれあいいきいきサロン推進事業及び住民主体サービスの推進	
④四日市市福祉教育大学	
⑤社会福祉相談援助実習	
⑥防災・災害支援事業	
(3) 包括的相談窓口の設置	25
①成年後見サポートセンター	
②地域後見サポート事業	
③福祉総合相談事業	
④四日市日常生活自立支援センター	
⑤生活困窮家庭支援、リユース事業	

2. 福祉ボランティアのまちづくり事業

(1) 相談援助業務	29
①ボランティアに関する相談及びコーディネート業務	
(2) 情報収集と提供	29
①ボランティアニュース「ボランティアのたまご」の発行	
②ボランティア団体会員募集一覧冊子の作成	
③ホームページの更新	
④フェイスブックの更新	
(3) ボランティアのきっかけづくり事業	30
①はじめてのボランティア説明会の開催	
②サマーチャレンジ2018の開催	
(4) 人育て（人材育成）事業	31
①地域福祉活動拠点でのボランティア講座	
②障害者スポーツボランティア講座の開催	
③福祉教育推進事業・福祉教育への支援	
(5) 活動支援（助成）事業	33
①外出援助サービス保険料助成事業の実施	
②ボランティア活動保険の加入促進	
(6) 協働事業	34
①四日市ボランティアキャンペーンの開催	
②ボランティアのつどいの開催	
③コーディネートを考える会議の開催	
④学生〔高校生・大学生〕ボランティア連携事業	

3. 福祉施設の管理運営

(1) 中央老人福祉センター	37
(2) 母子・父子福祉センター	37
(3) おもちゃ図書館	37

福祉支援課

1. 障害福祉支援室

(1) 障害者自立支援施設「共栄作業所」	39
(2) 障害者自立支援施設「たんぽぽ」	40
(3) 障害者自立支援施設「あさけワークス」	41
(4) 障害者福祉センター	42
①身体障害者デイサービス事業	
②失語症会話パートナーとの交流会	
③難聴者・中途失聴者教室	
④障害者相談業務	
⑤障害者福祉関係団体の支援	
⑥障害者福祉に関する啓発・情報提供	
(5) 障害者自立生活支援センター「かがやき」	45
①相談業務	
②自立支援協議会生活支援部会の運営	
③特定相談支援事業	
(6) 視覚障害者福祉センター	46
(7) 障害者就業・生活支援センター「プラウ」	46
①相談業務の実施	
②関係機関との連携	
③講座の開催	
④定着支援のために	
(8) 障害者就労支援事業ワークセンター	48
①職場実習の状況	

2. 高齢福祉支援室

(1) 中地域包括支援センター	48
①包括的支援事業	
②包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	
③要支援者ケアプラン及び総合事業ケアマネジメント	
④地域支援事業における介護予防事業	
⑤参加研修等	
⑥実習生の受け入れ	
(2) 訪問介護事業所	51
①介護保険訪問介護サービス	
②障害福祉サービス	
(3) 通所介護事業所「ゆりかもめ」	51
(4) くす在宅介護支援センター	53
①総合相談	
②地域介護予防普及啓発、福祉活動推進事業	
③介護予防推進事業	
④地域ケア会議の開催	
(5) 居宅介護支援事業所	54
(6) 介護保険認定調査室	55

平成 31 年度事業報告

【 会 務 報 告 】

理事会の開催

・第 1 回理事会

令和元年 6 月 4 日（火）午後 2 時～4 時 市総合会館 7 階 第 1 研修室

- 議 案
1. 任期満了に伴う理事・監事の斉改選について
 2. 会長、副会長、常務理事の候補者の選定について
 3. 評議員候補者の推薦について
 4. 平成 30 年度事業報告及び収支決算報告について
 5. 平成 30 年度監査結果報告について
 6. 定款の一部変更について
 7. 各種規程の一部改正について
 8. 定時評議員会の招集について

・第 2 回理事会

令和元年 8 月 26 日（月）午後 2 時～3 時 市総合会館 4 階 会議室

- 議 案
1. 評議員候補者の推薦について
 2. 四日市市社会福祉大会における福祉功労者の表彰について

・第 3 回理事会

令和 2 年 3 月 26 日（木）午後 2 時～3 時 市総合会館 7 階 第 1 研修室

- 議 案
1. 理事の一部変更について
 2. 各種規程等の一部改正等について
 3. 平成 31 年度資金収支補正予算について
 4. 令和 2 年度事業計画及び収支予算について
 5. 第 6 次四日市市地域福祉活動計画について
 6. 評議員会の招集について

・書面による理事会の決議

令和元年 6 月 26 日（水）

- 議 案
1. 会長、副会長、常務理事の選定について

評議員会の開催

・定時評議員会

令和元年 6 月 26 日（水）午後 2 時～3 時 30 分 市総合会館 8 階 第 3・4 会議室

- 議 案
1. 任期満了に伴う理事・監事の斉改選について
 2. 平成 30 年度事業報告及び収支決算報告について
 3. 平成 30 年度監査結果報告について
 4. 定款の一部変更について

・3 月評議員会

令和 2 年 3 月 27 日（金）午後 2 時～3 時 市総合会館 7 階 第 1 研修室

- 議 案
1. 理事の一部変更について
 2. 平成 31 年度資金収支補正予算について
 3. 令和 2 年度事業計画及び収支予算について
 4. 第 6 次四日市市地域福祉活動計画について

評議員選任・解任委員会の実施

- ・第1回評議員選任・解任委員会

令和元年6月11日（火）午後4時～4時30分 市総合会館4階 会議室
議 案 1. 評議員の選任について

- ・第2回評議員選任・解任委員会

令和元年8月26日（月）午後4時～4時30分 市総合会館4階 会議室
議 案 1. 評議員の選任について

監査の実施

令和元年5月27日（月）午後2時～午後3時30分 市総合会館8階 第4会議室
平成30年度事業報告及び会計監査

総 括

令和という新たな時代を迎え、少子高齢化が進展するとともに、地域で直面する生活課題は複雑化・深刻化しており、既存の制度では十分な対応が難しいニーズも生じている。

そのような中、「他人事」になりがちな地域づくりを地域住民が「我が事」として主体的に取り組む仕組みづくりや、対象者ごとの縦割りの福祉サービスを横断的に提供していく「丸ごと」の総合相談支援などが求められている。

第5次四日市市地域福祉活動計画の最終年にあたる平成31年度は、基本理念である安心して暮らしつづけることができる福祉のまちづくり～市社協の強みを生かし、つなげるからつながるへ～に基づき、地域住民や関係機関の協力、連携を得ながら、職員の横断的な連携を掲げ、本会は業務執行にあたった。

特徴的な取り組み

○法人運営関連事業

- ・第6次四日市市地域福祉活動計画の策定

学識経験者、地域関係団体代表、行政からなる策定委員会を立上げ、策定を行った。

「安心して暮らしつづけることができる『福祉のまちづくり』～市社協の強みを生かし、「つなげる」から「つながる」へ～を基本理念とし、四日市市が策定した第4次地域福祉計画の行動計画に位置づけられた。計画の期間を令和2年度から令和6年度（5年間）とした。

- ・生活困窮者自立支援事業の受託

平成31年4月、四日市市から生活困窮者自立支援事業の受託を行った。市保護課に事業所を構え、市保護課をはじめ関係機関と連携し、生活困窮者の相談支援や就労支援等を行った。

○地域福祉関連事業

- ・ふれあいのまちづくり事業

小地域福祉活動の推進を図るため、地区社会福祉協議会連絡協議会の全体事業を実施した。また、四日市市から生活支援コーディネーター及びふれあいいきいきサロン推進事業の委託を受けて職員5名を配置し、地域包括ケアの実現にむけて拠点事業及び地域ケア会議への出席等を通じて地域組織化に取り組んだ。地域拠点では、住民参加型福祉サービスを協働実施し、総合事業B型のモデル事業として視察受け入れや講師派遣を行った。

- ・成年後見サポートセンター事業

権利擁護関連においてスーパーバイズできる相談員2名を配置し、成年後見制度や権利擁護の事業に関わる相談だけではなく、先駆的事业の開発として制度の狭間で支援の行き届かないケース等に対する相談窓口を設置した。これらの活動から明らかになった課題を解決すべく、入院入所時の課題に対応できる新たなセーフティーネット構築に向けたモデル事業を実施した。

- ・ボランティアセンター事業

ボランティアセンターのコーディネートの実質を図るために、コーディネートに関わる関係機関との情報交換・情報共有を実施した。

ボランティア活動や福祉を身近に感じてもらえるよう、学校との協働、連携を模索し、さまざまな事業を通じた働きかけを強化した。

2021年三重とこわか国体にあわせて開催される全国障害者スポーツ大会（三重とこわか大会）へ向け、多くの市民に障害者スポーツの魅力を知っていただく事業を企業や関係団体と連携して実施した。

- ・日常生活自立支援事業

三重県社会福祉協議会の委託を受けて、日常生活自立支援事業を実施した。福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりなどの支援を行った。

○障害者福祉関連事業

障害者福祉関連 4 施設（共栄作業所・たんぼぼ・あさけワークス・障害者福祉センター）は、第四期指定管理者として、平成 31 年度から令和 5 年度までの 5 年間の初年度の管理業務にあたった。

利用者ファーストの視点で、サービスの向上に努めるとともに、「公の施設」としての適正な事業所運営に努めた。

また、業務の調整及び情報の交換を図るため、市障害福祉課と施設連絡調整会議を 12 回開催した。

その他障害者福祉事業においては、利用者や家族の生活ニーズに応えられるようサービスや支援内容の充実を図り、よりきめ濃やかな対応ができるように努めた。

○高齢者福祉関連事業

中地域包括支援センター・くす在宅介護支援センターは、利用者・家族、地域住民等からの様々な相談に応じ、情報提供や個別支援を行った。

また、地域ケア会議や医療・介護連携地域ケア会議に参画・開催し、地域課題の発見や解決方法の検討を行うとともに、認知症や介護予防事業にも取り組み、地域包括ケアシステムの構築に努めた。

介護保険サービス事業においては、本人や家族のニーズに即した支援が提供できるように努めた。また、安定的な運営ができるよう、地域の行事等に積極的に参加し事業の P R 機会を増やした。

平成 31 年度の事業報告の詳細は、以下のとおり。

総務課

1. 法人運営事業

(1) 第5次四日市市地域福祉活動計画の推進と第6次四日市市地域福祉活動計画の策定

第5次四日市市地域福祉活動計画の基本理念及び「つながる」というキーワードを継承し、以下の4つの基本目標を掲げた。①情報がつながる「しくみ」をつくる。②活動につながる「ひと」をつくる。③多様な主体がつながることで「あんしん」をつくる。④地域でつながる「わ」をつくる。

また、計画推進には本会各部署が横断的に連携し、包括的に取り組むこととした。

(2) 職員研修の実施

職員の資質向上のため、全国社会福祉協議会、三重県社会福祉協議会等が主催する派遣研修に147回、延べ217人を派遣した。また、本会主催研修の全体研修（ロジカルシンキング）、所属長研修（各施設長等を対象）、新規採用職員研修、各職場研修、人権研修や市職員研修など実施してきた。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全体研修の一部（交通安全研修等）については、延期及び中止とした。

(3) 福祉サービス相談窓口の開設

市社協が提供する福祉サービスに対する利用者の満足度を高めるとともに、利用者の権利を擁護し、利用者が福祉サービスを快適に利用することができるよう支援するため、福祉サービス相談窓口を開設した。

要求が3件あったが早急且つ丁寧な対応を行い、全て納得いただき解決した。（前年度 要求2件）

●相談受付状況

種別	N O	所属名	申出人 及び分類	申出内容	対応及び結果
要求	①	中地域包括 支援センタ ー	利用者の家族 職員の対応	入院中の利用者が退 院までに自宅の住宅改 修を行いたかったが、 担当職員及び病院の 調整不足で間に合わ なかった。迅速な対応等 に努めて欲しい。	施設長から対応の遅れを謝罪する とともに、担当者を変更することで了 承を得た。
要求	②	障害者福祉 センター	センター利用 者 職員の対応	センター利用の送迎 車が車寄せに長時間 停車していることから、 他の来館者の妨げにな っており、且つ運転手 が車から離れている。 駐車する場所ではない ため、長時間停車を控 え、車から離れないで 欲しい。	施設長から申出人に確認と謝罪を 行い、乗降時間以外は原則市営駐車 場へ入庫することと、車寄せに停車 する場合は、車から離れないように徹 底することを伝え、了承を得た。
要求	③	あさけワー クス	地域住民 送迎車の停車 位置	送迎バスが駐車場か ら歩道をまたいで公道 に出る際、交通量が多 く、しばらく歩道を封鎖 していた。 公道に出る際は、歩 行者や自転車の安全な 通行にも気をつけて欲 しい。	施設長から申出人に対し謝罪を行 った。歩道をまたぐ場合は、出来る限 り短時間で済むよう、駐車場で待機す ることの徹底を伝え、了承を得た。

(4) BCP（事業継続計画）の推進

日時	実施内容
1月30日(木)	BCP訓練(災害ボランティアセンター緊急対策会議も同時に行う) 四日市市内に局地的豪雨が発生し、河川が氾濫したという想定で訓練を行った。 被害想定に基づいた安否確認及び自宅等の被害状況を調査し、被災時に出勤する方法・経路・時間の調査実施訓練を行った。 また、安否確認方法について検討を行い、試験的に web を用いた報告方法の導入を行い、スムーズな情報の集約ができた。

(5) 団体活動支援

三重県共同募金会四日市市共同募金委員会、四日市市民生委員児童委員協議会連合会、四日市市地区社会福祉協議会連絡協議会、四日市市老人クラブ連合会、四日市市遺族会の事務局及び、四日市母子寡婦福祉会の運営支援を行った。

2. 市民啓発事業

市社協の事業の紹介や、市民にとって必要な福祉情報等をわかりやすく提供するため、広報紙を発行するとともに、四日市市社会福祉大会を開催し、市民の福祉意識の向上に努めた。

本会ホームページは、随時、内容の更新を行い、タイムリーな情報提供に努めた。

(1) 社協だより「かけはし」の発行

市社協事業の紹介及び報告、福祉情報の提供など市社協活動や福祉理解の促進、福祉啓発を目的として発行した。より市民に親しみやすい広報とするため、特集記事の掲載や写真を多く取り入れるなど紙面の一部を見直した。発行回数は年3回、各号約142,000部を市内全戸に配布した。同時に、希望される視覚障害者に、点訳かけはし(各号13部)、録音かけはし(カセット版147・148号各7本、カセット版149号6本、CD版各号16枚)を発行した。録音かけはしについては、より多くの人に利用してもらうため音声データをホームページに掲載した。また、財源確保のため広告募集を行い、掲載した。

発行日	内 容
6月20日 第147号	[特集・表紙:『認知症の人などにやさしいまちづくり』を一緒に考えませんか]全4頁 ・平成31年度予算、及び平成30年度決算の報告 ・平成30年度会費のお礼 ・お知らせ(サークルの案内、三療学術講習会の案内、福祉車両寄贈) ・障害者福祉センターだよりWITH(失語症パートナー交流会、失語症関連記事) ・寄付のお礼 ・寄付者のメッセージ など
10月20日 第148号	[特集・表紙:じぶんの町をよくするしくみ 赤い羽根共同募金運動]全4頁 ・四日市市社会福祉大会の案内 ・お知らせ(おもちゃ図書館まつり、母子・父子福祉センター) ・生活支援コーディネーターの案内 ・障害者福祉センターだよりWITH(第38回四日市市障害者大会、障害者福祉講座の案内) ・災害ボランティア活動報告 ・寄付のお礼 ・寄付者のメッセージ など
2月20日 第149号	[特集・表紙:みんなでしよにボランティア 四日市ボランティアキャンペーン]全4頁 ・赤い羽根共同募金運動のお礼 ・お知らせ(ボランティア募集)

	・福祉の店即売会のお礼 ・母子・父子福祉センター事業報告 ・障害者福祉センターだよりWITH(創作的活動・訓練の案内) ・寄付のお礼 ・寄付者のメッセージ など
--	--

(2) 四日市市社会福祉大会の開催

永年にわたり、社会福祉活動に功績のあった個人及び団体を表彰するとともに、講演をとおして広く市民に福祉について考える場を提供し、福祉の意識高揚を図った。

- ・日 時 令和元年11月11日(月)午後1時30分～
- ・場 所 四日市市文化会館 第1ホール
- ・参加者 約600名
- ・福祉功労者表彰 43名6団体
 - ・四日市市長表彰 6名
 - ・四日市市長感謝 2名
 - ・四日市市社会福祉協議会会長表彰 21名・3団体
 - ・四日市市社会福祉協議会会長感謝 14名・1団体
 - ・三重県共同募金会四日市市共同募金委員会会長表彰 2団体

- ・講 演 「愛はいのちを救う 笑いとは心を育む」 ～こん平の笑顔 えみヒストリー～
- ・講 師 林家 こん平氏(落語家)
- 笠井 咲氏(メンタル心理カウンセラー、こん平氏次女)

(3) ホームページの更新

市社協の組織や事業とともに、職員募集情報や各種講座案内等の記事の掲載を行い、タイムリーな情報を提供できるよう努めた。

【市民啓発事業 まとめ】

社協だより「かけはし」は、本年度からひとつのテーマについて内容を充実させた情報を、市民に知ってもらうための特集コーナーを設けた。また、社会福祉への関心を深めてもらうため、本会への寄付者にインタビューを行い、寄付者メッセージの掲載を行った。

「四日市市社会福祉大会」の式典では、「日々ボランティア活動を継続する事で表彰をいただけることを喜びに感じる。」また講演では、子育てをしながら明るく介護をされている姿に元気をもらった。「講師の方のバイタリティあふれる生き方に、私ももっとがんばらなければと思った。」などの声をいただいた。しかし、『出席者が少なく残念』という声もあり、内容の充実や会場の選定などを考えていくとともに、引き続き、市民の福祉啓発や市社協活動のPRを行っていきたい。

3. 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業の実施(三重県社会福祉協議会委託事業)

低所得者、障害者、高齢者を対象に貸付の相談、申請、返済などの窓口を担当した。

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により、世帯の収入が減収し生計の維持が困難な世帯を対象に、令和2年3月25日から特例貸付の相談・申請窓口を実施した。

資 金 の 種 類	貸付件数
教育支援費・就学支度費	10件
福祉費(エアコン購入)	1件
緊急小口資金	1件
合 計	12件
30年度	17件

新型コロナウイルス特例貸付 相談件数 64 件(窓口 27、電話 37)

緊急小口資金	16 件
総合支援資金	0 件

(2) 資金貸付事業の実施

福祉金庫（A）は生活保護受給者及び生活保護申請中、（B）はその他の低所得者を対象に市保護課と、国民健康保険高額療養費は市保険年金課、介護保険資金貸付は市介護保険課と連携して貸付業務を行った。

*福祉金庫（B）については、申請件数の減少及びみえ福祉の「わ」創造事業（生活困窮者支援緊急食料提供事業・緊急時物品等支援事業等）などの生活困窮者支援対策の充実により、平成 31 年度をもって廃止した。

	31 年度		30 年度	
	件数	金額	件数	金額
福祉金庫 (A)	482 件 内訳： 生活保護受給者 341 件 生活保護申請中 141 件	6,384,500 円	418 件 内訳： 生活保護受給者 277 件 生活保護申請中 141 件	5,446,000 円
福祉金庫 (B)	27 件	270,000 円	48 件	720,000 円
合 計	514 件	6,654,500 円	466 件	6,166,000 円

(参考)

	31 年度	30 年度
生活保護受給者	341 件	277 件
生活保護申請者	141 件	141 件
上記以外の低所得者	27 件	48 件

	31 年度		30 年度	
	件数	金額	件数	金額
国民健康保険高額療養費	5 件	2,641,000 円	15 件	3,324,000 円

	31 年度		30 年度	
	件数	金額	件数	金額
介護保険資金貸付	0 件	0 円	2 件	80,676 円

4. 財源確保

(1) 財政基盤の安定化

①社会福祉協議会会費

31 年度	会費の種類	会員数	会 費
	一 般 会 員	1,143 人	1,152,000 円
	団 体 会 員	334 団体	3,450,355 円
	合 計	—	4,602,355 円
30 年度	会費の種類	会員数	会 費
	一 般 会 員	1,078 人	1,128,500 円

	団 体 会 員	343 団体	3,430,070 円
	合 計	—	4,558,570 円

②善意の基金

香典の一部、チャリティ募金等を社会福祉のために、という趣旨の寄付を積み立てた。

年 度	積立額	取崩額	基金(年度末現在)
31 年度	56,942,469 円	1,441,545 円	235,671,343 円
30 年度	4,175,618 円	0 円	180,170,419 円

③寄付金等

(ア) 現金

	31 年度	30 年度
香典の一部、チャリティバザー等	92,575,469 円	4,175,618 円
上記以外の寄付 (企業から施設への指定寄付、NHK歳末金等)	30,000 円	65,000 円
合 計	92,605,469 円	4,240,618 円

(イ) 物品寄贈

白い小箱(災害用非常食品)、エアロバイク、フットマッサージャー、食品・雑貨(店舗改装時の在庫商品)など

④資産運用

自主財源の確保を目的に、本会資産運用規程(第39条第2項余裕資金の運用)に基づき、長期国債を中心とした資産運用を行い、今年度は利息により3,447,600円の利益があった。

(2) 共同募金運動(三重県共同募金会四日市市共同募金委員会事業)の推進

10月1日、5日、6日にPRセレモニー・街頭募金を行った。平成30年度に引き続き、こにゅうどうくんバッチを3,200個作成し啓発した。

	種 別	目標額	実績額	達成率
31 年度	一般募金	44,367,400 円	38,515,886 円	86.81%
	歳末たすけあい募金	900,000 円	784,121 円	87.12%
	合 計	45,267,400 円	39,300,007 円	

	種 別	目標額	実績額	達成率
30 年度	一般募金	44,104,000 円	37,729,263 円	85.54%
	歳末たすけあい募金	900,000 円	829,366 円	92.15%
	合 計	45,004,000 円	38,558,629 円	

(3) 収益事業

①「喫茶ふれあい」の経営

	31 年度	30 年度
営 業 日 数	245 日	251 日
年 間 総 収 入	11,046,139 円	10,183,174 円

1 日 平均利用数	約 52 名	約 48 名
1 日 平均売上額	45,086 円	40,570 円

②「総合会館売店」の受託運営

	31 年度	30 年度
営 業 日 数	249 日	261 日
年 間 総 収 入	25,825,059 円	29,820,215 円
1 日 平均利用数	約 210 名	約 235 名
1 日 平均売上額	103,715 円	114,253 円

法人運営事業繰入	0 円	1,100,000 円
----------	-----	-------------

5. その他の福祉事業

(1) よっかいち福祉の店

社会福祉施設利用者や在宅高齢者などの手作り作品を、販売ボランティアの協力を得て販売した。また、地区文化祭等行事、その他各関係機関のご協力により、展示即売会を実施した。新規イベントに参加させていただき、昨年度 19 回に対し、20 回の参加となった。

年度	常設店	年間売上実績
31 年度	市総合会館 1 階 開店日数(年間)233 日	4,469 点 1,497,650 円
30 年度	市総合会館 1 階 開店日数(年間)231 日	4,126 点 1,624,050 円

(2) 生活困窮者支援事業

四日市市から生活困窮者自立支援事業を受託し、市保護課をはじめ関係機関と連携し、生活困窮者の相談支援や就労支援等を行った。また、平成 27 年 7 月から三重県社会福祉協議会が実施する「みえ福祉の『わ』創造事業」に参画し、以下の支援を行った。

平成 30 年度に引き続き、「みえ福祉の『わ』創造事業」に 20 口(200,000 円)の拠出を行った。

<自立相談支援実績>

31 年度		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	相談者数	25	36	39	37	41	45	65	71	64	78	85	101	687
	延利用者数	51	61	78	94	88	109	174	179	164	201	230	243	1,672

※687 人の相談（うち外国人は 53 人）があり、のべ 1,672 件の相談件数であった。市保護課以外の他機関との連携は 69 機関でのべ 777 件であった。

・市保護課を除く主な他機関連携数

他機関連携数	ハローワーク	民生委員 (主任児童委員を含む)	相談機関 (地域包括/在介/障害/発達等)	行政機関 (19 機関)	医療機関	学校関係	その他
777 件	95 件	76 件	91 件	181 件	39 件	74 件	221 件

・世帯別相談件数

実相談件数	単身	夫婦世帯	母子・父子	その他	(18 歳以下を含む世帯)
687 件	253 件	63 件	175 件	196 件	(228 件)

・世代別相談件数

実相談件数	60 代以上	50 代	40 代	30 代	20 代以下	不明
687 件	128 件	151 件	162 件	130 件	98 件	18 件

・地区別相談件数(相談件数の多い順)

実相談件数	四郷地区	常磐地区 (久保田除く)	日永地区	共同・浜田・ 久保田地区	三重地区	その他の地区 (市外・県外含む)
687 件	118 件	108 件	48 件	47 件	40 件	326 件

<「みえ福祉の『わ』創造事業」実績>

事業名	生活困窮者支援 緊急食糧提供事業 (フードバンク)	緊急時物品等支援事業 (日用消耗品、おむつ、 宿泊費等)	生活困窮者就労 活動支援事業 (交通費助成)	賃貸住宅入居保証 事業
31 年度	182 件	36 件	9 件	1 件
30 年度	141 件	0 件	59 件	0 件

(3) 実習生等の受け入れ実績(総数)

各事業所において将来の福祉を担う人材育成を目的に、福祉専門職や、看護師、教職員または、小学校・中学校福祉体験、四日市市新規採用職員研修等を受け入れ、本会が持つ機能、役割などについて学ぶ機会を提供した。

種 別	人 数
介護福祉士	2 人
看護師	7 人
教員免許	4 人
市新規採用職員	30 人
小・中職場体験	11 人
小・中福祉体験	97 人
その他(北勢きらら学園等)	4 人
合 計	155 人
30 年度	123 人

6. 職員の安全衛生事業

○第 1 回衛生委員会

実施日・場所 令和元年6月14日(金) 市総合会館 3階社会適応訓練室

内容:平成31年度衛生委員会の実施計画案について

第92回「全国安全週間」に伴う本会の取り組みについて

産業医講話「夏期に発生しやすい疾病について」

○第 2 回衛生委員会

実施日・場所 令和元年9月13日(金) 本町プラザ 4階会議室

内容:産業医による職場巡視(中地域包括支援センター・訪問介護事業所)を当日実施

「職場の安全衛生について」巡視のチェックポイントの解説(産業医)

「全国労働衛生週間」の実施に合わせ、本会も10月1日～7日「ゼロ災活動」を実施し、全職員にワッペンを配布、啓発

○第 3 回衛生委員会

実施日・場所 令和元年12月12日(木) 市総合会館 3階社会適応訓練室

内容:今後の衛生管理者・衛生推進者の選出について

職場での常備品について

インフルエンザに対する安全衛生管理対策の見直し

○第4回衛生委員会

実施日・場所 令和2年3月6日（金）市総合会館 3階社会適応訓練室

内容：平成31年度「職員健康診断結果」を基に産業医の講評

ストレスチェック結果報告、産業医の講評

令和2年度本会の「年間安全衛生管理計画（案）」

「安全衛生に関する基本方針」及び「年間安全衛生目標・スローガン」の決定

産業医講話「新型コロナウイルス（COVID-19）の知見について」

地域福祉課

1. ふれあいのまちづくり事業

生活支援コーディネーターを3名配置し、「市エリア」「ブロックエリア」「地区エリア」「小地域エリア」の4つのステージに区分して事業を展開した。それぞれのステージで協議体の設置を支援するとともに、課題を整理する中で地域包括ケア実現にむけた取り組みをすすめた。

住民主体サービスの新規立ち上げについて、地域に働きかけるとともに活動中の住民主体サービスについて持続可能な事業展開が図れるようにスーパーバイズを行った。ふれあいいきいきサロン+助け合い活動という新しい小地域福祉活動について今後地域に展開できるように調査研究をすすめた。

また、ふれあいいきいきサロン推進員を2名配置し、自宅から歩いていける場所で介護予防活動や交流の場をすすめるとともに、地区ごとのふれあいいきいきサロンが集い、意見交換を行うふれあいサロン連絡会を開催した。ふれあいいきいきサロンを中心に小地域でソーシャルアクションを行うしかけを展開してきた。

各地区民生委員児童委員協議会へ参画し、地域の福祉課題の解決に向けた活動を支援した。

総合相談事業では、気軽な市民の福祉相談の窓口として、さらには処遇困難事例等への相談体制も充実していくなど包括的な福祉相談の担い手として関係機関との連携を密に取りながら問題解決や福祉ニーズの把握に努めた。

(1) 地区社会福祉協議会支援

地域において、地域福祉活動を推進していく基盤となる地区社協との連携強化に努めた。

①地区社協への運営費等の助成

(ア) 地区社協組織活動補助金…1地区 40,000円。支部（校区）社協を組織化している地区については1支部（校区）社協につき8,000円を加算。

(イ) 地区社協事業費補助金…地区の世帯数による

(ウ) 地域福祉活動メニュー事業補助金…実績方式

(エ) 共同募金交付金…前年度の共同募金の目標額の21%（実績が目標額に達しない場合は実績額）と目標超過額の90%

②地区社協指導者研修会等の実施

(ア) 地区社協連絡協議会 全体会議・・・87名出席

令和元年6月27日（木）総合会館8階 視聴覚室

内容 1. 会長・副会長の選任について

2. 市社協評議員の選出について

3. 指導者研修会の開催について

4. 市社協 補助金について

5. 情報提供・出前講座の案内

○「四社協福祉ゼミナール」について

- 「市社協 出前講座」について
- 「ボランティア活動保険」について
- (イ) 地区社協リーダー研修会／補助金説明会
令和2年2月28日（金）中止、文書にて周知した。
- (ウ) 地区社協ブロック別 会長会議
令和元年8月22日（木）：北部、8月23日（金）：中部、8月23日（金）：南部
内容 1. 四日市市社協事業報告について
2. 全体事業（グラウンドゴルフ大会）について
3. ふれあいいきいきサロン委託金の変更について
4. 情報交換
令和2年1月27日（月）：南部、29日（水）：北部、31日（水）：中部
内容 1. 全体事業（グラウンドゴルフ大会）について
2. 令和2年度補助金等の変更（ふれあいいきいきサロン委託金）について
3. リーダー研修会について
4. 意見交換
- (エ) 全体事業（グラウンドゴルフ大会）の開催
実行委員会の開催：令和2年1月14日（火）
令和2年3月12日（木）中止
- (オ) 小地域福祉活動ホームページの開設
市社協ホームページ内に「小地域活動応援サイト」を運営

③福祉協力員等活動費補助事業の実施

- 地域福祉活動の推進者である福祉協力員等の活動のより一層の促進を図るため、運営費20,000円、活動費として福祉協力員等1名につき年間3,000円（上限80,000円）を補助し、活動を支援した。
- ・実施地区（13地区）
共同、中央、橋北、羽津、富田、下野、三重、桜、川島、神前、内部、大矢知、県
 - ・地域ゼミナールの実施（12地区）
福祉協力員により各地域で福祉勉強会を実施した。

④地域福祉活動メニュー事業の実施

平成8年度から地区社協に対する具体的な支援として「地域福祉活動メニュー事業」を開始した。平成10年度からは、対象を小学校区に組織化されている地区社協に拡大し、平成12年度からは、高齢者などの介護予防や地域での交流・出会い、憩いの場としての「ふれあいいきいきサロン」活動をすすめていくための運営費や、新規に活動を立ち上げる資金を支援するメニューを加えた。また地区社協の取り組みに際し、各地区の福祉活動状況や地域特性を踏まえて、それぞれの地域課題を明らかにし、事業の企画段階から市社協職員が参画して、支援を行ってきた。

(メニュー内容)

- ・学習・啓発事業
- ・交流事業
- ・ふれあいいきいきサロン事業

●学習・啓発事業 14地区（支部を含む） 24メニュー （平成30年度：10地区 14メニュー）

地区	事業名	内容	人数
共 同	視察研修	社会福祉法人フェリス「福祉村」への視察	36
	福祉勉強会	「日常の危機管理 ～見守り助け合い～」	40
	リーダー講習	ラジオ体操講習会	45
富洲原	福祉講演会	演題「オーラルフレイル予防で健康長寿をめざそう」	34

八 郷	高齢者大学	演題「明日の地域医療を考える」	38
	介護のお話会	特養・デイサービス施設見学体験会	35
八郷西	高齢者大学	演題「明日の地域医療を考える」	36
	環境教室 1	子ども陶芸教室	26
	環境教室 2	子ども陶芸教室	26
桜	史跡めぐり	桜地区内の史跡をめぐり郷土歴史学習	59
	バードウォッチング	身近な自然を観察して環境学習	42
	親子教室	親子の紙飛行機教室	45
河原田	環境教室	ハーバリウム教室	32
	環境教室	寄せ植え教室	41
日 永	環境教室	講師を招いて講演会とコルク板で作るボード作成	17
県	青少年育成講演会	演題「地域みんなで支える子育て」	40
常磐	福祉学習会	聴覚障害についての勉強会 6 回講座	156
塩浜	介護予防講座	演題「寝たきり防止の心得」	35
	環境講座	演題「資源のリサイクルと障害者雇用の実際について」	40
神前	福祉講演会	神前学校「認知症になってもこの町で暮らすために」	25
	福祉講演会	神前学校「これから求められる地域活動」	25
橋北	福祉講演会	演題「もしばなゲーム」	40
浜田	福祉講演会	演題「夢 持っていますか？ 行動する勇気」	400
下野	福祉講演会	演題「私の経営」	100

●交流事業 19 地区（支部を含む） 44 メニュー （平成 30 年度：20 地区 44 メニュー）

地区	事業名	内容	人数
共 同	ぬくもりの集い	ひとり暮らし高齢者を招いて介護予防、いきいき百歳体操、楽しく脳トレ	65
	ふれあい広場	地域の関係機関が一同に会し、交流するイベント。小中学校のブラスバンドや諏訪太鼓の演奏	900
	ラジオ体操講習会	ラジオ体操を正しく身につけ健康増進につなげる	60
同 和	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らし高齢者を招いてのフラダンス、フルート演奏	31
同和・中央	三世代交流もちつき大会	中央地区、同和地区の共催事業。ゲーム、もちつきなど	250
中 央	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流会、出前講座、ロコモ体操	57
港	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流会、音楽鑑賞、自治会との交流	76
	ふれあい広場	地域の方のふれあいイベント、福祉講演会、お菓子づくり、うどんの振る舞いなど	400
浜 田	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流会	70
	餅つき交流会	地域のだれでもが参加できる交流の場として餅つきやゲームなど	500
海 蔵	小学生と七夕交流会	海蔵小学校の児童と高齢者の交流事業。七夕の飾りつけなど	167
羽 津	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流会、歌と演奏	111
富洲原	グラウンドゴルフ大会 春	地域住民を対象としたグラウンドゴルフ大会	92
	グラウンドゴルフ大会 秋	地域住民を対象としたグラウンドゴルフ大会	100
	ウォークラリー大会	地域住民を対象としたウォークラリー大会	90
八郷	納涼囲碁大会	世代間交流をかねた囲碁大会	10
	新春囲碁大会	世代間交流をかねた囲碁大会	14

	グラウンドゴルフ大会	世代間交流をかねたグラウンドゴルフ大会	69
	子ども工作まつり	小学生を対象とした工作教室	87
県	ふれあい文化祭	地域住民全体事業。講演会、大道芸、作品展示、サークル発表等	700
	綱引き選手権大会	地域住民全体事業。綱引き後ぜんざいで交流	220
桜	リフレッシュ健康体操	高齢者の転倒予防、介護予防や認知機能向上のためのエクササイズ	48
	さくらふれあいまつり	福祉施設との交流会。手品、歌など	102
川 島	川島町北部第一親睦会	地域住民を対象としたグラウンドゴルフと昼食会	70
	親睦もちつき大会	ひとり暮らし高齢者との交流	100
神 前	小さな運動会	高齢者の方の参加による運動会	130
	ウインターウォークラリー	地区内におけるウォークラリー	220
四 郷	共栄作業所との交流会	福祉施設との交流	85
高花平	保育園児との交流会①	高齢者と保育園児との交流	37
	保育園児との交流会②	高齢者と保育園児との交流	35
	保育園児との交流会③	高齢者と保育園児との交流	35
	幼稚園児との交流会④	高齢者と幼稚園児との交流	21
	幼稚園児との交流会⑤	高齢者と幼稚園児との交流	47
	幼稚園児との交流会⑥	高齢者と幼稚園児との交流	35
	幼稚園児との交流会⑦	高齢者と幼稚園児との交流	113
常磐	住民との餅つき大会	地域住民との交流	74
河原田	障害者ふれあいの集い	在宅障害者の方を招待して遠足	17
	グラウンドゴルフ大会	地域住民を対象としたグラウンドゴルフ大会	63
	梅林ウォーキング大会	ウォーキングを通じて地域住民の健康と親睦	33
塩浜	ふくしサロン	ゲームや手作り遊びで世代間交流	63
	園児と高齢者のつどい	太鼓や出し物で園児と高齢者の交流	79
	新春落語会	落語を通して世代間交流	79
	グラウンドゴルフ大会	地域住民を対象としたグラウンドゴルフ大会	90
楠	ふれあい農園	農作業を通して世代間交流	20

●ふれあいいきいきサロン 34 地区（支部を含む） 669 サロン （平成 30 年度：34 地区 633 サロン）

	地区名	回数	参加者数	サロン名	サロ数
1	共 同	89 回	865 人	いろは会(グランドゴルフ、健康体操、絵手紙、イベント・企画)、ふれあいいきいきサロン、なでしこ会カフェ	6
2	中 央	64 回	978 人	中央地区ふれあいサロン、新町おしゃべりサロン、ほほえみクラブ、中央地区いきいき百歳体操	4
3	港	168 回	1,667 人	港いきいきサロン、笑和ホネホネクラブ、イイちゃんちのおしゃべりサロン、北納屋町いきいき百歳体操、北納屋町カラオケ教室、北納屋町手芸教室、北納屋町グラウンドゴルフクラブ、北納屋町映画鑑賞会、ひまわり	9
4	浜 田	264 回	3,214 人	笑話会、ふれあいはなし会、ロコモーショントレーニングの会、グラウンドゴルフ愛好会、浜田サロン、曙一丁目サロン	6
5	同 和	49 回	762 人	同和地区社協カフェサロン、あんずの会(イベント、手芸、歌、体操、茶話会、折り紙)	7
6	橋 北	11 回	563 人	にこにこサロン日曜給食サービス	1
7	海 蔵	394 回	4,684 人	パステルアート、折り紙サークル、キルト、あみもの、体操教室、おどり愛好会、パソコン教室、カラオケ愛好会、川柳の会、コーヒーサロン、グランドゴルフ、茶飲み友の会、音楽療法、ピンポン、お達者ストレッチ、野田みどりサロン、お達者クラブ	17

8	羽 津	111 回	919 人	エミ(笑み)の会、ふれあいサロン「仲良し会」、城山・いきいきクラブ、サロンほんごう、はづ夢、防災&大正琴カフェ(カフェ)、防災&大正琴カフェ(大正琴)	7
9	富洲原	122 回	3,995 人	いきいきサロン転ばぬ先のオモリ、松原さらく会、天カ須賀さらく会	3
10	富 田	767 回	11,859 人	いきいきサロン願入寺、すみれサロン、歌おう会、お達者クラブ、なかよしクラブ、富田グラウンドゴルフ愛好会、カラオケクラブ、おやじサロン、ハッピーサロン体操、ハッピーサロンそろばん、北鵬グラウンドゴルフ愛好会、茂福ワイワイヨガサロン、長生き健康クラブ、百歳体操西町クラブ、北勢グラウンドゴルフ同好会、茂福いきいきクラブ、北村いきいきサロン百歳体操、ハッピーサロンイベント、さわやか浜元サロン	19
11	大矢知	1,127 回	16,236 人	松寺お達者クラブ、蒔田グランドゴルフ、なごみクラブ、松寺ふれあい手芸クラブ、十志町ものづくりの会、十志町健康づくりの会、御殿まりをたのしむ会、松寺若葉会グランドゴルフ、いきいき百歳体操、エンドレス、グランドゴルフ愛好会、川北キングクラブ、川北キンググランドゴルフ、下之宮ハピネスサロン卓球、下之宮ハピネスサロンいきいき百歳体操、下之宮ハピネスサロンフラダンスの会、下之宮ハピネスサロン、健康体操教室、下之宮ハピネスサロン麻雀、下之宮ハピネスサロンカラオケを楽しむ会、歌を歌って元気になる会、陣屋いきいき体操、いきいき古家、松寺百歳体操、下之宮町ハピネスサロン英会話サロン、下之宮ハピネスサロン、イベント・企画、下之宮町ハピネスサロン将棋サロン、いこいの部屋、下之宮町ハピネスサロンそば打ち、下之宮町ハピネスサロンコーラス	32
12	八 郷	647 回	10,801 人	蒨のどう、さらく、ダム之歌の会、すいせん、ひまわり、ふれあいサロン、カフェサロンこすもす、100 歳まで歩こう、あゆみの会、ぼちぼち庵、グー・チョコキ・パー、平津新町おしゃべりカフェ、太極拳サークル、ベルの会、伊坂台お達者クラブ、平津新町パソコン広場、八郷元気かい！、平新お達者クラブ、平新歌のもくいち、平津新町詩吟クラブ、中村町お達者クラブ、さくら手芸教室、スマイリーズ、おたのしみ会、心身ストレッチ健康、サークル平新、山分町健康づくり教室、山分いきいき体操、いきいき体操平津新町、伊坂台グラウンドゴルフ、伊坂台ふれあいカフェ	30
13	八 郷 (西)	412 回	4,374 人	たんぽぽの会、八郷西もみじクラブ、暁風会、八郷西陶芸クラブ、トマリ会、ひまわり会コーラス、ひまわり会イベント・企画、ひまわり会カフェ、睦会 生け花、睦会 イベント・企画、和の会、さくらの会、ふれあいランチタイム、わいわいサロン	14
14	下 野	1,113 回	14,793 人	山城詩吟クラブ、卓球本間グループ、コーラスサークル「和み」、あさけが丘一丁目卓球愛好会、あさけが丘グランドゴルフ愛好会、札幌町グラウンドゴルフ愛好会、北山町ワイワイクラブグランドゴルフ愛好会、北山町ワイワイクラブカラオケ愛好会、西大鐘グラウンドゴルフ愛好会、八千代台絵手紙教室、やちよ俳句会、Asakegaokaらくらくサロン、あさけが丘憩いのサロン、下野活き域ネットあさけが丘、下野活き域ネット八千代台、下野活き域ネット山城町、北山介護予防(KKY)サロン、あさけが丘カラオケ歌おう会朝明町健康吹き矢、朝明町グラウンドゴルフクラブ、健康レクリエーションクラブ、山城町卓球サークル、山城町グラウンドゴルフクラブ	22
15	保々	286 回	4,535 人	はつらつクラブ、市場町いきいき体操、西村町いきいき体操クラブ、高見台いきいき百歳体操、小牧南いきいき体操クラブ、元気クラブ	6
16	三 重 (中央)	709 回	10,002 人	川向グラウンドゴルフクラブ、生桑町グラウンドゴルフクラブ、東坂部町グラウンドゴルフ愛好会、山之平GOGO会、寺小屋健康体操、寺小屋 イベント・企画、生桑町ふれあいサロン、輝(かがやき)サロンおしゃべり、輝(かがやき)サロン健康麻雀、輝(かがやき)サロンお茶会、御館グラウンドゴルフクラブ	10

17	三 重 (西)	1,953 回	28,969 人	三重西ふれあいサロンイベント・企画、結ウォーキング、結イベント・企画、結 体操、三重西ラジオ体操同好会、三重西おしゃべりの会、三重三丁目ひだまり交流会、エミ(笑う)の会、三重 5 丁目ラジオ体操グループ、美里が丘カラオケ愛好会、第 2 美里ヶ丘ラジオ体操愛好会、美里が丘体操クラブわかば会、三重六丁目ラジオ体操同好会、なのの会イベント・企画、なのの会お話し会、三丁目友好会いきいきマージャン教室、三重団地俳句の会「みはらし」、睦(むつみ)、美里が丘みのりの会、美里が丘マージャン同好会、いきいき 90、5 丁目マージャン同好会	22
18	三 重 (北)	1,493 回	12,779 人	山之一色町グラウンドゴルフ 愛好会、介護予防の会「さえずり会」手芸、介護予防の会「さえずり会」歌・健康体操、介護予防の会「さえずり会」エンジョイクラブ、GOGO グランドゴルフ男性サークル、GOGO グランドゴルフ女性サークル、大沢台さつき会グラウンドゴルフ、大沢台さつき会麻雀、大沢台さつき会太極拳、大沢台さつき会歌の会、大沢台さつき会手芸・料理、大沢台さつき会ラジオ体操、大沢台さつき会イベント・企画、大沢台さつき会卓球、大沢台さつき会喫茶サロン、大沢台さつき会パソコンクラブ、一歩のつどい、元気サロン 1 丁目、坂部が丘四丁目生き生きクラブグラウンドゴルフ、いきいきサロン、GOGO ヨガサークル、坂部が丘タウン・パクパク会、坂部が丘百歳塾、なでしこ、一丁目グラウンドゴルフ愛好会、おじさんのカフェサロン	26
19	大谷台	1,291 回	13,937 人	小杉町グラウンドゴルフ、小杉ヨガ教室、いきいきサロン小杉新町グラウンドゴルフ同好会、みゆきヶ丘一丁目自治会いきいき健康サロン」熟年会、みゆきヶ丘一丁目自治会いきいき健康サロン」百人一首、みゆきヶ丘一丁目自治会いきいき健康サロン」読書、みゆきヶ丘一丁目自治会いきいき健康サロン」コーラス、いきいきサロン福寿会グラウンドゴルフ、いきいきサロン・タルサカ、ふれあいいきいきサロン「大空」、いきいきサロン・垂坂グラウンドゴルフ愛好会、南垂坂町シニアクラブ歩こう会、南垂坂町シニアクラブ生花教室、南垂坂町シニアクラブグラウンドゴルフ同好会、南垂坂町シニアクラブカフェサロン、いきいきみゆき 2、健康体操ひまわりの会、いきいきサロングラウンドゴルフ、おしゃべり広場、ふれあいいきいきサロンみゆきヶ丘 2 丁目健康麻雀同好会、みゆきヶ丘 2 丁目囲碁・将棋同好会、絵手紙(桜の会)、唱歌(あじさいの会)、いきいきサロン・大谷台ヨガ、大谷台 2 丁目いきいきサロン長寿会グラウンドゴルフ、大谷台 2 丁目いきいきサロン長寿会生花、大谷台 2 丁目いきいきサロン長寿会囲碁、大谷台 2 丁目いきいきサロン長寿会健康イキイキクラブ、大谷台 2 丁目いきいきサロン長寿会太極拳・フィットネスタイチ、みゆきが丘 1 丁目自治会いきいきサロン百歳体操、今日もげんき会、月一趣味の会、カラオケ同好会、いきいき垂坂百歳くらぶ、垂坂お達者くらぶ、ハッピー体操クラブ、大谷台二丁目いきいきサロン、長寿会ストレッチ体操	38
20	県	1,453 回	21,614 人	赤水町グラウンドゴルフ仲良会、あこずさわやか健康塾、五月会(大正琴)、スイトピー(大正琴)、上海老グラウンドゴルフ愛好会、上海老手芸クラブ、すまいる、大沢いきいきサロン寿会、大沢手芸鶴の会、大沢いきいきサロンお達者倶楽部、カフェサロン大沢、いきいき体操仲良会、グラウンドゴルフ仲良会、カラオケ仲良し会、ヨガ仲良会、平尾町ふるさと広場、平尾町グラウンドゴルフ同好会、栄グラウンドゴルフクラブ、栄手芸クラブ、北黒江グラウンドゴルフ愛好会、ハイツふれあいクラブ、ハイツにこにこ会、書・小野小町、ハイツ夢クラブ、あがたハイツグラウンドゴルフクラブ、ハイツ夢・百歳体操	26
21	桜	286 回	5,609 人	憩いの家 イベント・企画、駅前こいの家健康講座、桜ボランティア協会駅前憩いの家歌、桜ボランティア協会駅前憩いの家手芸、桜ボランティア協会駅前憩いの家カラオケ喫茶、桜ボランティア協会駅前憩いの家認知症予防講座、桜ボランティア協会駅前憩いの家絵手紙講座、桜ボランティア協会駅前憩いの家お楽しみ会、山	21

				上いきいきサロンパッチワーク、山上いきいきサロン映画、山上いきいきサロンイベント・企画、桜花台ふれあいサロン健康体操、桜南ほかほかくらぶ、智積第六いきいきサロン、一色いきいきサロンイベント・企画、一色いきいきサロングランドゴルフ、一色いきいきサロンカフェサロン、ほっとカフェ“ほかほか”、桜台3丁目交流サロン、桜台PCサロン、ミニデイサービスともだちの輪	
22	川 島	918 回	14,832 人	なんぶ熱、けやき台(ゆーらくサロン、カラオケ、グラウンドゴルフ、カフェサロン)、西部ふれあい会、三滝台(卓球クラブ木曜会、グラウンドゴルフ倶楽部、サロンふれあい、カフェ)、いきいきサロン絆、川島新町悠遊サロン、さくら熟年会、東部(いきいき楽話会、いきいき水茎会、いきいきクラブ)、やよい会GGC、ちょぼらかわしま(元気サロン、カフェサロン、イベントサロン)、かわしまカフェサロン園、かわしま健康サロン、小生はなみずき会、きさらぎ会悠彩の里のカフェ、いきいき健康体操、健康体操フレンズ、別山ヨガサークル、みたき台卓球クラブ、川島園趣味の会	30
23	神 前	1,546 回	25,151 人	菅原町ふれあい広場生け花、菅原町ふれあい広場グラウンドゴルフ、寺方 GG クラブ、寺一カラオケ愛好会、寺一お達者クラブ、大日 Café サロン、高角町ふれあい広場、高角グラウンドゴルフかきのした、高角町グラウンドゴルフ会、ふれあい笑話会、曾井 YY クラブ、曾井町グラウンドゴルフ、パッチワーク、より曾井サロン、尾平卓球、尾平カラオケ会、尾平どんぐりクラブ、グラウンドゴルフ、尾平町どんぐりクラブお達者クラブ、カフェサロン尾平、上名ヶ丘ふれあい話そう会、上名ヶ丘ふれあいカラオケ、上名ヶ丘ふれあい体操、美里が丘ふれあい広場、美里が丘ラジオ体操同好会、カフェあったかつの、上名ヶ丘卓球同好会、曾井町ピンポンズ、曾井町いきいき体操、寺方町一区いきいき百歳体操美里なごみサロン、高角げんき会、なあなあの会、笑いヨガ健康体操、曾井町吹き矢クラブ、曾井町カラオケクラブ、ピーチクパーチク歌声広場、矢合ひまわり(体操、イベント、お話会)	39
24	常 磐	1,268 回	12,106 人	きらめきサロンカラオケ、きらめきサロンストレッチ、きらめきサロン手芸、きらめきサロン生け花、きらめきサロンイベント・企画、きらめきサロンカフェサロン、青葉町生き生きサロンピンポン、青葉町生き生きサロンイベント・企画、青葉町生き生きサロングランドゴルフ、青葉町生き生きサロン生花、青葉町生き生きサロンカラオケ、いぐらふれあいの会、まつもといきいきクラブ、青春映画サロン西伊倉、ラジオ体操西伊倉、城東シニアクラブ、ときわ三丁目ふれあいサロン大正琴、ときわ三丁目ふれあいサロンイベント・企画、ときわ三丁目ふれあいサロン囲碁・将棋、ときわ三丁目ふれあいサロン太極拳、ときわ三丁目ふれあいサロン体操、ときわ三丁目ふれあいサロンカフェ、ときわ三丁目ふれあい、サロン卓球、ときわ五丁目ふれあいサロン、ふれあいカフェえがお、松本生き生きの会(グラウンドゴルフ)	27
25	四 郷)	768 回	10,982 人	いきいきサロン悠友室山フォークダンス、いきいきサロン悠友室山お達者クラブ、いきいきサロン悠友室山歌の会、いきいきサロン悠友室山介護センター講和、いきいきサロン悠友室山イベント・企画、いきいきサロン悠友室山足裏健康法と食育、室山町ラジオ体操クラブ、ふれあいいきいきサロン「絆」グラウンドゴルフ、ふれあいいきいきサロン「絆」イベント・企画、出雲の森グラウンドゴルフ、出雲の森フォークダンス、出雲の森イベント・企画、出雲の森手芸同好会、出雲の森お達者クラブ、出雲の森カフェサロン、小鹿が丘ふれあいいきいきサロン「かのこ」イベント・企画、西日野町ふれあいいきいきサロン、西日野いきいき体操の会、西日野町りんりん体操教室、西日野町グラウンドゴルフ、フォークダンスアカシア	21
26	四 郷 (笹川)	1,335 回	19,740 人	わかさちぎり絵、わかさ笹の会、パッチワーク、睦月会(日本画)、わかさ陶芸友の会、わかさおしゃべりカラム、わかさ7丁目女子会、わかさ4丁目おしゃべり、わかさ体操、わかさバランスボール体操、わ	47

				かさセブングラウンドゴルフ、わかさ民生の会、わかさ会、わかさ東太鼓、わかさ習字の会の部、笹川ポプラの会、桜の会、和みの輪パソコン、和みの輪詩歌朗読会、五号公園ラジオ体操仲間、8丁目グランドゴルフ仲間、村田女子麻雀塾微笑、小物入れ造り微笑仲間、きずなの会微笑、村田男子麻雀塾微笑、手工芸品造り微笑仲間、8パソ教室微笑、俳句村田塾微笑、体操と映画で集う微笑仲間、唱歌と映画で集う微笑仲間、笹ッパ老人会微笑、サロン食事会微笑、カフェサロン微笑だんだん、唄の会ほほえみ、新舞踊輝州会、いきいきサロンかがやきカフェ、いきいきサロンかがやき童話を歌う会、いきいきサロンかがやき囲碁・将棋の会、いきいきサロンかがやき手芸・編み物の会、いきいきサロンかがやきカラオケの会、いきいきサロンかがやき料理教室、いきいきサロン健康体操、いきいきサロンかがやき早朝ラジオ体操の会、いきいきサロンかがやきハングル教室、サロンかがやき百歳体操、サロンかがやきイベントサロン、健康マージャン	
27	四郷 (高花平)	1,024 回	13,276 人	絵手紙教室、いこいっこ囲碁、いこいっこパソコン教室、いこいっこおしゃべり会、いこいっこイベント・企画、いこいっこ和紙人形づくりの会、いこいっこ高花平将棋クラブ、いこいっこカフェ、ミニ福祉教室、生活リハビリお達者教室、小林町ほほえみ会、小林町ラジオ体操愛好会、高花平ラジオ体操愛好会、太極拳同好会、ヨガサークル、小林町カラオケ愛好会、イキイキ高花、小林町グラウンドゴルフ愛好会	18
28	小山田	230 回	4,003 人	山田町高齢者教室、山田町囲碁・将棋、山田町 100 年史を語る会、大正琴小山田琴友会、小山町グラウンドゴルフ、堂ヶ山町グランドゴルフ、西山町はればれクラブ、小山町慶寿会(なごみ会)、鹿間町元気になる会、ひだまりカフェサロン、山田町(歩こう会)、古民家サロン里山、山田町”楽”、堂ヶ山仲良し会	14
29	水 沢	414 回	4,936 人	葉穂の会 水沢、起勢の会、青葉会、絵手紙笑顔の会、そば打ち同好会、水沢茶どころ吟詠会、墨楽会、茶葉一ズ、本町白寿会わろてんか、水沢北谷ニコニコ会、きらら体操、楽々上々会、いきいき横町、三本松瑠璃会、いきいき百歳体操西條町	14
30	日 永	1,090 回	19,067 人	えがお、青空サロン、ミニデイサービスふれあい会、元気火曜日会、猿法師ラジオ体操同好会、ひまわり、泊小柳町カラオケ同好会、絵てがみ教室どんぐりの会、南日永ラジオ体操、ついたち会第4 クラブ、前田新町体操教室いきいきサロン、前田新町カラオケ教室いきいきサロン、和楽サロン、お達者クラブ、中瀬古クラブ、フォークラブ、泊山崎中部お達者クラブ、カラオケサロンいこい、カフェサロンクローバー1、カフェサロンクローバー2、おしゃべりサロン「サルビア」、いこいのサロンとまり木、カフェサロン和、ひとやすみひまわり、南部おしゃべりサロン Jocy 会、カフェ天白、南日永北部百歳体操、前田町東部いきいき百歳体操、カフェサロンしんまち、にこにこサロン永宮、ほっこり、	31
31	塩 浜	1,016 回	14,619 人	大里町グランドゴルフ愛好会、大里町カラオケ愛好会、川合町いきいき 100 歳体操クラブ、川合町 なかよし会A、しおはまグランドゴルフクラブ、川合町 なかよし会Bほんまち絆サロン、ソルトビーチカフェ、ふれあいの集い、中里町ふれあいサロン、中里町GG若竹会、ふれあい広場福寿草(B)、ふれあい広場 福寿草(A)グランドゴルフ、ふれあい広場福寿草(A)いきいき会、ふれあい広場福寿草(A)お達者クラブ、馳出町ふれあい広場、馳出町イキイキサロン、磯津町ふれあいサロン、お達者クラブ磯津、いきいきクラブ北町、いきいきクラブ西町、ポエム小浜いきいきサロン、ポエム小浜(七宝教室)、ポエム小浜GGC、海山道ふれあいサロン、海山道カフェサークル、遊遊倶楽部、海山道町ふれあいサロン、海山道町ふれあいサロン(イキイキ健康体操教室)、大池町竹の子会A、大池町竹の子会B、すみれ会、ふれあいサロン「ほっと」、スマイル100、大正琴サークル、磯津卓球、磯津グラウンドゴルフの会	36

32	内 部	1,799 回	18,700 人	あったか交流サロン、北小松町ふれあいいきいきサロン、歌の会小古曽教室、小古曽グランドゴルフ愛好会、ニコニコヨガ教室、ハツラツ詩吟教室、ふれあいピンポン、キッチンフレンド、オゴソシスターズ、南小松フラダンスの会、南小松グランドゴルフクラブ、東原 GG クラブ、手芸クラブひなぎく、いきいきクラブ東原、うね女民謡同好会(竹の子会)、采女体操クラブ、ふれあいいきいきサロン”うね女”、采女が丘ラジオ体操と茶話会、北小松町グランドゴルフ同好会、ふれあいいきいきサロンひいらぎ、はぎがおカフェ、イキイキサロン笑、カフェサロンうつべ、グランドゴルフ・アスカ、グラウンドゴルフ西部、采女南部 G/G クラブ、小古曽ファミリー、小古曽ラジオ体操クラブ、波木町ラジオ体操会、南小松ラジオ体操会、北小松百歳体操クラブ、采女が丘交流サロン、采女が丘グラウンドゴルフクラブ、北小松町ラジオ体操クラブ	35
33	河原田	392 回	6,455 人	いきいきサロンあすなろ会、いきいきサロン貝塚町、いきいきサロンオレンジ、おしゃべりカフェかわらだ、楽しみ広場 3 日会、ほっとサロンオレンジ、いきいき百歳体操大治田、いきいき百歳体操あすなろ、リバーサイド、モリモリマンデー、百歳体操オレンジ、貝塚百歳体操、いきいき内堀	13
34	楠	627 回	4,735 人	栄町街角くらぶ、錦町・昭和町街角くらぶ、南本町街角くらぶ、旭町街角くらぶ、幸町Ⅱ区街角くらぶ、幸町Ⅱ区カフェサロン、吉崎ふれあい街角くらぶ、街角カフェ、開栄町お達者クラブ、東本郷わいわい会、高齢者会議、旭町いきいきふれあいカフェ、憩いのサロン、新浜町街角の集い、新町シニアサロン、カフェとしこ(東町)、早起き会、すみれ	18
合 計		25,236 回	341,757 人		669
30 年度		23,217 回	333,287 人		633

●子育てサロン 11 地区（支部を含む） 14 サロン （平成 30 年度：10 地区 11 サロン）

	地区名	回数	参加者数	サロン名	サロン数
1	共 同	42	719	中部スマイル教室	1
2	富 田	16	377	みどりの芝生	1
3	八 郷	16	149	虹の会サロン	1
4	県	21	241	すくすくサロンサルビア	1
5	桜	18	184	のびっこ	1
6	小山田	28	426	子育てひろば	1
7	水沢	49	337	水沢子育てサロン	1
8	内部	20	374	がらがらどんの会	1
9	河原田	12	20	すくすくサロン	1
10	楠	185	1,030	楠ちびっ子サロン、おもちゃ図書館楠	2
11	羽津	129	2,393	寺子屋楽修舎、子ども食堂、ぴよぴよ広場	3

(2) 地域コミュニティの推進

地区民生委員児童委員協議会への参画等をとおして、各地域の社会資源や福祉課題の整理を行った。

①生活支援コーディネーター

市域の生活支援コーディネーターと 3 つのブロックに生活支援コーディネーターを配置し、地域包括ケア実現に向けて、拠点事業及び地域ケア会議への出席等を通じて協議体の設置を支援した。

また、住民主体サービス団体の組織化と持続可能な事業展開が図れるよう、スーパーバイズを行った。

各地区で開催される地域ケア会議において、見守りが必要なケースの情報共有を行い、地域包括ケアシステムにおける地域の見守り活動の強化をすすめた。

年 度	関係機関への スーパーバイズ・連携	各種会議への出 席	調査業務	地域社会づくり 推進事業
31 年度	1,489 件	456 件	22 件	104 件
30 年度	1,479 件	315 件	6 件	169 件

②四日市市小地域福祉活動事業（拠点事業）の実施

地域包括ケア事業の実施に向けて、拠点を活用したモデル事業を実施した。

（ア）北地域拠点「よってこ家」（富田地区）

協力員を中心に毎週金曜日に地域の交流拠点として「カフェサロン」と四日市市ボランティアセンターと連携した取り組みであるボランティア講座「まなびや」を開催した。

運営委員会を開催し、地域拠点の在り方について検討をすすめた。

令和 2 年 2 月 28 日からは新型コロナウイルス感染拡大予防のため、カフェサロンを閉所した。

年 度	年間開催日数	開催延べ人数	一日平均参加人数
31 年度	42 日	2,321 人	55.7 人
30 年度	49 日	2,726 人	48.4 人

（イ）下野地域拠点事業

平成 28 年 4 月から下野・活き域ネットと協定を結び、住民参加型福祉サービスを協働実施。下野活き域ステーションを共同事務所として整備し、平成 29 年度 4 月から総合事業（訪問 B、通所 B）の実施を行っている。総合事業の先進モデル事業として視察の受け入れや講師派遣等を実施した。

（ウ）神前地域拠点事業

神前地区（高角町矢合）の倉庫を無償で借り受け、地域後見サポート事業や日常生活自立支援事業等で支援を行っている生活困窮者に対して、電化製品等を提供する生活困窮家庭支援・リユース事業の拠点とした。

③ふれあいいきいきサロン推進事業及び住民主体サービスの推進

介護予防事業の取り組みとして、ふれあいいきいきサロンに助け合い活動を取り入れる事業について調査研究を行った。また、介護保険制度改正に伴うふれあいいきいきサロン事業への支援策への円滑な移行に対する理解と対応ができるように各地区、各種サロンごとにコーディネートを実施した。

（ア）ふれあいいきいきサロン連絡会の開催・・・18 地区 22 回実施（新型コロナウイルス感染拡大予防のため、14 地区 11 回が中止）

各サロンへの情報提供や活動における課題の共有などの意見交換を行った。

（イ）住民主体サービス団体連絡会議の実施

開催日等	内 容	参加団体
2 月 28 日（金）	有償ボランティア活動の必要性	中止

④四日市市福祉教育大学

（ア）四社協福祉ゼミナールの開催

福祉の考え方の基本視点を見つめなおす機会・福祉の最新情報や専門知識を学ぶ場として開講し、ふだんのくらしのしあわせについて考える市民（福市民）の養成を行った。また、福祉協力員の研修の機会も兼ね、興味のある講座のみの参加も可能な形で実施。全体で 26 名の参加があ

り、福市民として21名が登録した。

開催日	内 容	参加者
9月16日(月・祝)	『ボランティアには定年はない！！アクティブシニアをめざそう！』 講師：大阪教育大学 新崎 国広 氏	17人
10月21日(月)	『一人暮らしの増加と今後～どのような地域や社会を築いていくか～』 講師：日本福祉大学 藤森 勝彦 氏	19人
11月18日(月)	『事例から見えてくる社会的課題』 講師：四日市市中地域包括支援センター 職員	15人
12月16日(月)	『もしものための話し合い、もしバナゲームで考える地域包括ケア』 講師：四日市市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター	17人
1月20日(月)	『権利擁護と地域福祉活動』 講師：四日市市社会福祉協議会 成年後見サポートセンター支援員	17人
2月17日(月)	福市民のつどい『福市民のすすめ』 講師：大阪教育大学 新崎 国広氏	17人

(イ) 地域福祉ゼミナールの開催

福祉協力員等が組織化されている13地区全てで、地域の福祉課題の共有と解決策を見出すことを目的に座談会を開催した。

(ウ) 専門ゼミナールの開催

開催日等	内 容	参加者
11月14日(木) 市総合会館 視聴覚室	映画会&トーク ～身近に感じて考えよう「成年後見制度」って何だろう～ ・映画上映:『話す犬を、放す』 ・トークセッション:「他人事じゃない?!成年後見制度について考えよう!」 ふじ社会福祉士事務所 藤井 由紀子 氏 四日市市社会福祉協議会 職員	80人
1月16日(木) 勤労者・市民交 流センター本館 研修会議室	成年後見ゼミナール 第1回 ・「地域福祉・権利擁護の理念」 四日市市社会福祉協議会 職員 ・「市民後見概論」 ふじ社会福祉士事務所 藤井 由紀子 氏 ・「成年後見制度の基礎(概論・法定後見・任意後見)」 上野法律事務所 米田 義弘 氏	19人
1月30日(木) 勤労者・市民交 流センター本館 研修会議室	成年後見ゼミナール 第2回 ・「対人援助の基礎」「対象者理解(知的障害者)」 市川社会福祉士事務所 市川 知律 氏 ・「対象者理解(認知症・高齢者)」 四日市市中地域包括支援センター 職員 ・「対象者理解(精神障害者)」 総合心療センターひなが 後藤 敦子 氏	22人
2月13日(木) 勤労者・市民交 流センター本館 研修会議室	成年後見ゼミナール 第3回 ・「介護保険制度・サービスについて」 四日市市中地域包括支援センター 職員 ・「障害福祉制度・サービスについて」 四日市市障害者福祉センター 職員	22人

	・「生活保護制度・生活困窮者自立支援法について」 市保護課 藤巻 高政 氏 ・「社会保険制度(健康保険・年金)について」 株式会社アスト 生川 奈美子 氏	
2月27日(木) 勤労者・市民交 流センター本館 研修会議室	成年後見ゼミナール 第4回 ・「財産管理と契約に関する手続きについて」 リーガルサポート三重支部 古市 英也 氏 ・「相続事務・死後事務について」 リーガルサポート三重支部 岡本 仁志 氏 ・「裁判所における手続き(事務報告・収支計画・上申等)」 リーガルサポート三重支部 濱田 憲次郎 氏	中止
3月5日(木) 市総合会館 第3会議室	成年後見ゼミナール 第5回 ・「現役後見人による実践報告・実務における留意点」 ・「四日市市の成年後見・中核機関の役割とこれから求められる市民後見活動」 市川社会福祉士事務所 市川 知律 氏 ・「グループトーク(参加者同士の意見後見・意思表示) 講座のまとめ」 ふじ社会福祉士事務所 藤井 由紀子 氏	中止

(エ) なるほど出前講座の開催

福祉に関する情報や制度についてわかりやすく情報発信するしくみとして、出前講座を開始した。

【開催 48回 人数 1,598名 (30年度: 54回 2,217名)】

No	開催日	主 催	内 容	人数
1	4月5日(金)	下野活き域ネット	成年後見制度について	50名
2	4月16日(火)	下野活き域ネット	成年後見制度について	30名
3	4月23日(火)	下野活き域ネット	成年後見制度について	30名
4	5月7日(火)	山分町健康づくり教室	成年後見制度ミニ講座	30名
5	5月12日(日)	桜地区社会福祉協議会	地区の少子高齢化状況と社協について	30名
6	6月4日(火)	いきいきサロンわかさ高齢者の部	地域福祉について	27名
7	6月12日(水)	障害者相談支援センターHANA	成年後見制度について(家族のつどい)	15名
8	6月13日(木)	三重地区社会福祉協議会	三重中央福祉協力員研修会	30名
9	6月15日(土)	南部地域民生委員児童委員協議会	研修会「認知症について」	160名
10	6月16日(日)	下之宮サロン	終活勉強会	15名
11	6月18日(火)	城山いきいきクラブ	笑って考えて認知症予防	6名
12	6月21日(金)	県立北星高校	はじめてのボランティア説明会	10名
13	6月22日(土)	四日市大学	災害ボランティア活動、災害ボランティアセンター運営訓練	60名
14	6月26日(水)	三重県社会福祉協議会	シニア世代におけるボランティア活動について	15名
15	6月27日(木)	小山田地区民生委員児童委員協議会	東日野地区認知症について	25名

16	6月28日(金)	いきいきサロン絆	いきいきサロン絆 出前講座	22名
17	7月9日(火)	亀山市中央公民館	地域での住民主体活動「生活応援隊」	20名
18	7月10日(水)	たんぽぽ保護者会	成年後見人制度について	20名
19	7月27日(土)	やさにしスマイルネット	研修会「これからの役割」	16名
20	7月31日(水)	市立病院ボランティアふれあいグループ	ボランティアワンランクアップ講座	25名
21	9月4日(水)	小浜町いきいきサロン	エンディングノート・成年後見制度	20名
22	9月8日(日)	中央地区社会福祉協議会	成年後見制度・エンディングノート	150名
23	9月15日(日)	ふれあいネット笹川西	今、地域に求められる活動について	20名
24	9月21日(土)	ふれあいネット笹川西	今、地域に求められる活動について	60名
25	9月21日(土)	ふれあいネット笹川西	今、地域に求められる活動について	15名
26	9月25日(水)	市立病院ボランティアふれあいグループ	ボランティアワンランクアップ講座	25名
27	9月29日(日)	ふれあいネット笹川西	今、地域に求められる活動について	50名
28	10月5日(土)	下野地区社会福祉協議会	福祉講演会「成年後見ミニ講座」	80名
29	10月6日(日)	あかつき台一丁目西社会福祉協議会	和みのつどい	30名
30	10月8日(火)	いきいきサロン八王子町「出雲の森」	地域福祉のおはなし	30名
31	10月17日(水)	海蔵地区社会福祉協議会	地域福祉活動について	40名
32	10月18日(木)	市健康づくり課	ボランティア活動の心構え	50名
33	11月15日(金)	神前地区社会福祉協議会	福祉部委員研修会	28名
34	11月17日(日)	西橋北福祉委員	地域での福祉活動ボランティア活動	10名
35	11月19日(火)	旭町ふれあいカフェ	「ふくし」を考える	50名
36	11月21日(木)	いきいきサロンかがやき	終活について（成年後見制度）	30名
37	11月27日(水)	市立病院ボランティアふれあいグループ	ボランティアワンランクアップ講座	25名
38	12月1日(日)	三重県立北星高等学校	福祉と国際理解「災害とボランティアについて」	24名
39	12月4日(水)	東橋北地区福祉協力委員会	福祉勉強会	12名
40	12月5日(木)	三重県立北星高等学校	福祉と国際理解「災害とボランティアについて」	3名
41	1月12日(日)	くすの木サロン	健康寿命を延ばそう！	20名
42	1月21日(火)	あさけが丘米寿会	成年後見制度ミニ講座	30名
43	1月29日(水)	市立病院ボランティアふれあいグループ	ボランティアワンランクアップ講座	25名
44	2月12日(水)	きらめきサロン	地域福祉について	15名
45	2月19日(水)	共同地区社会福祉協議会	福祉勉強会	10名
46	2月22日(土)	市危機管理室	防災大学「災害ボランティアについて」	30名
47	3月13日(金)	市立四日市病院「サルビア」	身寄りのない方への生活支援の実際	50名
48	3月16日(月)	日永地区市民センター	地域包括ケアシステムについて	30名

⑤社会福祉相談援助実習

社会福祉士相談援助実習担当者会議を行い、社会福祉士を目指す学生の相談援助実習を受け入れ体制の充実を図った。

職員研修を企画し、相談援助技術の向上に努めた。

日時：令和2年2月13日（木） 場所：四日市市総合会館8階 視聴覚室

内容：「ロジカルシンキング」

講師：星槎大学大学院 特任教授 内田 友美氏

⑥防災・災害支援事業

（ア）災害ボランティアセンター推進事業

四日市市社会福祉協議会災害ボランティアセンター運営マニュアルに基づき、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練及び、運営マニュアルの見直しと設置に向けた準備物の整備を行った。また、災害ボランティアセンター設置運営に関する出前講座や訓練を実施し、市民理解の増進に努めた。

開催日	講座名	開催内容
10月26日（日）	市民総ぐるみ総合防災訓練	災害ボランティアセンター啓発
11月24日（日）	内部地区防災訓練	災害ボランティア設置訓練
1月20日（月）～ 1月30日（木）	四日市市社会福祉協議会 BCP 訓練	BCP訓練、緊急対策会議等訓練 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練
2月22日（土）	防災大学	災害ボランティアセンター運営について

（イ）災害ボランティア派遣事業

被災地で活動する災害ボランティアの登録を行うとともに、本会主催で災害ボランティアバスを企画し、被災地への災害ボランティアの派遣を行った。

・災害ボランティア保険加入者・・・282名

●災害派遣状況

派遣期間	派遣先	派遣及び参加者
9月5日（木）～ 9月7日（土）	四日市市下野地区	四日市市青年会議所 21名、四日市大学 40名、一般ボランティア 1名、四日市市 社会福祉協議会 10名
10月18日（金）～ 10月19日（土）	台風19号：長野県長野市災害ボ ランティアセンター	四日市大学教員 1名、学生 4名、四日市 看護医療大学学生 1名、四日市消防職 員 1名、四日市市社会福祉協議会 4名

（ウ）広域災害ボランティアセンター強化事業

近隣市町3市3町（四日市市、鈴鹿市、亀山市、川越町、朝日町、菰野町）が大規模災害時に協力体制が取れるように、運営マニュアルや様式の調整を行うとともに、それぞれの市町の特성에合わせた連携体制が取れるように情報共有や訓練を行った。

開催日	内容
11月7日（木）	三泗鈴亀地区災害ボランティアセンター広域連携強化会議
3月25日（水）	三泗鈴亀地区災害ボランティアセンター広域連携強化研修会：中止

（3）包括的な相談窓口の設置

包括的な相談窓口の一本化を図り、関係機関につなぐプラットフォーム的な役割を担った。解決が難しい相談も含めて、関係機関の支援につなげるための「つなぎ支援」を行った。相談内容は多様化と多問題化しており、福祉以外の他職種な関係者との連携が求められている。既存の制度やサービスの隙間の課題について、関係機関と協力しながら新たな支援の構築をすすめている。

●包括的な窓口相談

年 度	新規相談件数
31 年度	567 件
30 年度	559 件

●つなぎ支援相談対応内訳

年 度	訪 問	電 話	来 所	その他	合 計
31 年度	3,583 件	3,842 件	771 件	2,460 件	10,656 件
30 年度	2,856 件	2,908 件	406 件	1,942 件	8,112 件

①成年後見サポートセンター

(ア) 調査研究事業

病院入院や施設入所の際の緊急連絡先や病院代金の支払い等に関して、親族等の支援が得られないケースが増加し対応が課題となっている。これらの課題に対する支援策としたモデル事業を継続して実施した。併せて関係機関との情報交換や聞き取り調査への協力を行った。

●モデル事業ケースの対応内訳

年 度	病院	介護施設	老健	病院(心療内科)	その他	合 計
31 年度	46	52	8	3	1	110
30 年度	36	21	8	2	2	69

終了ケース 47 件、継続支援ケース 63 件。継続支援ケースについては令和 2 年度も引き続き支援を行う。

●関係機関との情報交換等

日程	内 容
4 月 18 日(木)	日本福祉大学におけるニッセイ財団プロジェクト「単身生活者支援」研究会 ・入院入所サポートモデルの情報交換会
9 月 7 日(土)	第 21 回弁護士業務改革シンポジウム「おひとりさま」支援における弁護士の役割 ・入院入所サポートモデルの研究発表
2 月 26 日(水)	「身寄り」のない生活困窮者及び若者に対する支援事例に関する調査研究事業: 聞き取り調査への協力 ・入院入所サポートモデル事業について

(イ) 権利擁護の啓発の機会の実施

福祉専門職、当事者組織、地域団体などより出前講座の依頼を受け、権利擁護や成年後見制度の説明の機会、成年後見サポートセンターの役割についての出前講座を行った。

また、四日市福祉教育大学の専門ゼミナールと合同で、一般市民・活動者養成の権利擁護講座を実施した。

(ウ) 相談対応内訳

年 度		訪 問	電 話	来 所	代行等	合 計
31 年度	相談支援	107 件	355 件	35 件	252 件	749 件
	後見人支援	1 件	6 件	21 件	10 件	38 件
30 年度	相談支援	95 件	287 件	42 件	324 件	748 件
	後見人支援	1 件	13 件	16 件	23 件	53 件

②地域後見サポート事業

市や福祉・司法関係機関との連携を図り、市民からの成年後見制度に関する相談や成年後見制度を必要とする人々の支援を行う事業を実施した。

年 度	支援実人数
31 年度	631 人
30 年度	530 人

法人後見受任

成年後見サポート事業運営委員会を設置し、専門職後見人の選任が難しいケースなどの法人後見人を受任した。課題を多く抱えるケースや後見人が不足した際のセーフティーネットとして、法人が後見人となり、市民と後見活動を協働できる仕組みの検討をすすめた。

内 容	件 数
受任支援	15 件(内、新規 3 件、終了 0 件)

③福祉総合相談事業

関係機関との連携を図り相談事業の充実に努めた。

- ・開設場所…市総合会館 2 階 福祉総合相談室
- ・相談件数…70 件

相談方法	電 話	来 所
件 数	55	15

相談事項	暮らし・住まい	家 族	健康・医療	人権・法律	教育・福祉	その他
件 数	37	21	36	8	48	19

※相談事項は重複

④四日市日常生活自立支援センター

三重県社会福祉協議会の委託を受けて、判断能力に不安があり、契約内容を一定程度理解できる高齢者や知的・精神障害者等を対象に福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりなどの支援を行った。新規契約件数は 63 件となっている。

所長 1 人、専門員 7 人、事務補助員 2 人、生活支援員 42 人体制で行政、民生委員児童委員や在宅介護支援センター等と連携を図り、事業を展開した。

また、生活支援員の資質向上を図るため、生活支援員研修会を開催するとともに、三重県社会福祉協議会主催の研修会へ参加した。

(ア) 相談件数…8,951 件(年間)

相談対象別件数(件)及び割合(%)

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合 計
2,201 (24.6)	2,203 (24.6)	4,412 (49.3)	135 (1.5)	8,951 (100)

※相談件数は、専門員及び推進員が利用者や市民等から相談を受け支援を行った件数

(イ) 契約締結件数推移(件)

年 度	新規契約件数	契約解除件数	年度末契約件数
31 年度	43	71	367
30 年度	63	72	395

(ウ) 平成 31 年度末実績

a 生活支援員の派遣状況 (件)

週に 1 回	隔 週	月に 2 回	月に 1 回
185	59	67	56

b 利用料負担状況 (1 回 1,200 円)

有料	無 料
66 件	301 件(生活保護受給者…189 件、住民税非課税者…112 件)

c 契約対象内訳 (件)

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他
119	74	161	13

d 延支援回数 (回)

生活保護	非課税	非課税(有料)	課 税	計
6,925	3,566	939	722	12,152

※非課税 (有料) : 住民税非課税者で預貯金 200 万円以上の利用者

(エ) 生活支援員研修会の開催・参加

a 三重県社会福祉協議会主催

日時 令和元年 11 月 27 日(水) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 10 分

目的 利用者との関係づくりや援助技術の向上を図る

参加 13 名

内容 ①講義 「意思決定支援について」

講師 有限会社 ウエルネット 21 関口 広樹氏

②パネルディスカッション 「支援のあり方を考える」

パネリスト 伊賀市社会福祉協議会職員

四日市市社会福祉協議会職員

b 四日市市社会福祉協議会主催

日時 令和 2 年 2 月 26 日(水) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

目的 生活支援員の資質向上を図る

参加 24 名

内容 ①講義 「意思決定支援について」

講師 有限会社 ウエルネット 21 関口 広樹氏

②講義 「ケース記録、日報の記載方法について」

講師 四日市市社会福祉協議会職員

⑤生活困窮家庭支援、リユース事業

生活困窮家庭に対する生活用品の貸与等を実施した。関係者から不要で使用可能なものをお預かりし、必要な人にお貸しする仕組みで実施。神前地区拠点を倉庫にしてマッチングを行った。

生活困窮者対策支援事業として、協定を結んだ生活協同組合コープ三重から定期的にカップ麺やお米等をご寄付いただき、地域後見サポート事業などの支援を行っている生活困窮家庭に提供し、生活の再建のきっかけをつくるとともに日常生活支援の指導に役立てた。

内 容	おもな内訳	件数
カップ麺やお米等の食材提供	お米:531kg、パックごはん:36 パック、カップ麺:74 個、缶詰:216 缶、お菓子 65 袋、調味料 65 個、麺類 27 袋、飲料水(コーヒー、お茶等):126 本 その他 54 等	142 件
生活物品	炊飯器、掃除機、洗濯機、テレビ、電子レンジ等	11 件

【ふれあいのまちづくり事業 まとめ】

地域の福祉活動の推進機関として各地区社会福祉協議会を位置づけて地域福祉活動をすすめるとともに、各地区における地区社協役員会や企画実行委員会、市内を3つのエリアにわけた地区社協ブロック会議、在宅介護支援センターと連携した地域ケア会議などの協議体を通じて情報提供や課題の把握に努めた。特に福祉ニーズの情報共有の会議を特定のエリアごとに開催し見守りネットワークの強化、課題発見の仕組みをすすめることができた。

ふれあいいいききサロン推進員は、各グループへの情報提供や新たな協議体としての課題の共有や新たな活動の構築にむけた意見交換の場としたふれあいいいききサロン連絡会に参画した。しかし、多くの地区が年度末の開催を予定していたため、新型コロナウイルス感染拡大予防のため約半数の地区で実施できなかった。ふれあいいいききサロンは、前年度末より36グループ多い669グループで年間延べ人数341,757人が参加され、地域における介護予防活動の取り組みとして年々広がってきている。新型コロナウイルス感染拡大予防のため3月以降ほとんどの活動が休止となったが、電話での声かけ活動など新たな取組も始まった。

生活支援コーディネーターは、3つのブロックに配置され、地域包括ケア実現にむけて拠点事業及び地域ケア会議への出席等を通じて地域組織化事業を促進した。また処遇困難ケースのケースワークも実施し地域関係者と福祉関係者と連携した取り組みを行った。これらの事例から出てきた課題をもとに各地区の協議体においてスーパーバイズを実施した。さらに住民主体サービス団体等の立上げと安定した事業継続のための支援を行った。

地域拠点では、住民参加型福祉サービスを協働実施し、総合事業（訪問B、通所B）の実施のモデル事業として視察の受け入れや講師派遣等を行った。

福祉教育大学では、四社協福祉ゼミナール、地域ゼミナール、専門ゼミナールの3つのカテゴリで福祉人材の養成及び研修の機会を作り福祉人材の養成を行った。

包括的な福祉総合相談窓口として、制度の狭間や支援者がいない方の支援体制として「つなぎ支援」を実施した。入院入所時等の新しいセーフティーネットとしての支援策の構築に向けてモデル事業を継続し、関係機関との情報交換等を実施した。また、四日市市社会福祉協議会独自の生活困窮家庭への生活再建にむけての支援として企業の協力のもとフードバンク（食材提供）やリユース事業（家電製品の貸与）などを行った。

各地区民生委員児童委員協議会へ定例会議に参画し、民生委員児童委員が取り組む高齢者、障害者（児）への支援、「地域子育てネット0～6会議」をはじめとする子育て支援活動等で明らかになった各地域の社会資源の把握や福祉課題の解決に向けた活動に対する支援を強化した。

引き続き、各地域の福祉課題解決に向けて、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、在宅介護支援センター、ボランティアなどとコミュニティソーシャルワークを強化していく。

2. 福祉ボランティアのまちづくり事業

ボランティアセンターでは、市民が気軽にボランティア活動に参加できるよう、さまざまな機会の提供に努めた。ボランティアに関する相談は基より、啓発活動や情報提供、学習や活動の場を提供するとともに、ボランティアグループや個人ボランティアへの活動支援などに取り組んだ。

また、将来を担う次世代への福祉学習やボランティア経験にも関係機関と連携しながら取り組んだ。

(1) 相談援助業務

①ボランティアに関する相談及びコーディネート業務

ボランティアに関する相談への対応や、ボランティアを必要としている人とボランティア活動を希望している人や活動中の人を実際の活動につなげるコーディネートを行った。

●ボランティアに関する相談・調整

相談・調整先	件数
市民、関係機関等	407 件

●コーディネート実績

年 度	依頼件数	派遣件数	派遣人数	派遣団体数
31 年度	151 件	82 件	170 名	21 団体
30 年度	162 件	112 件	208 名	32 団体

(2) 情報収集と提供

①ボランティアニュース「ボランティアのたまご」の発行（月 1 回）

ボランティアに関する事業や情報を掲載し、毎月 20 日に発行した（発行部数約 1,800 部）。ボランティア団体や個人ボランティア、行政、一部企業等の各関係機関への送付や地域の掲示板への貼付などにより、ボランティア活動の周知に努めた。

②ボランティア団体会員募集一覧冊子の作成

会員を募集しているボランティアセンター登録団体の活動状況などの情報を掲載する冊子を作成した。

③ホームページの更新

ホームページ上に、ボランティアセンター事業やボランティア募集などボランティアに関する情報を掲載し、ボランティア活動やボランティアセンターの周知に努めた。

④フェイスブックの更新

若い世代を中心に普及しているフェイスブックの機能を活かしてボランティアセンターが開催する各種イベント事業の様子をはじめ、企画の段階から関わってもらったボランティアのみなさんの様子、各ボランティア団体の活動の様子などを発信し、ボランティア活動やボランティアセンターをより身近なものに感じてもらえるように努めた。

(3) ボランティアのきっかけづくり事業

①はじめてのボランティア説明会の開催

これからボランティア活動を始めたいという人を対象に、ボランティア活動に関する基礎知識の習得と実際の活動へのつながりを目的に開催した。ボランティア活動に関する基礎知識や心構えを伝え、活動の紹介を行う。開催日時は、より多くの人に参加してもらえるように、毎月 3 回、平日午前、平日夜間、休日午後とした。

月	開 催 日	参加者数	説明会内容
4 月	9 日(火) 16 日(火) 20 日(土)	12 名	<全体説明> ①市社協&ボランティアセンターの概要説明 ②ボランティアについての学習 ③市内ボランティア活動状況 ④ボランティア活動保険の説明 ⑤ボランティア募集状況 他
5 月	7 日(火) 14 日(火) 25 日(土)	17 名	
6 月	11 日(火) 22 日(土)	3 名	
7 月	9 日(火) 16 日(火)	5 名	
8 月	6 日(火) 13 日(火) 17 日(土)	7 名	
9 月	3 日(火) 10 日(火) 21 日(土)	4 名	<個人対応> ①1 対 1 で活動希望の聞き取り ②活動先との調整
10 月	1 日(火) 8 日(火)	7 名	
11 月	5 日(火) 23 日(土)	5 名	
12 月	3 日(火) 21 日(土)	4 名	
1 月	14 日(火) 25 日(土)	2 名	

2月	4日(火) 18日(火) 22日(土)	9名	③見学への同行
3月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		④活動中のフォロー
年間	27日	75名	

②サマーチャレンジ2019の開催

高校生や大学生・専門学校生等を対象に、ボランティア活動の魅力を伝えるとともに、ボランティア活動のきっかけになる体験の機会を夏休み期間に提供し、学生との連携した活動につなげることを目的に開催した。

開催日	活動内容	受け入れ施設・団体	参加者数 (延数)
6月25日(火) 7月2日(火) 5日(金) 10日(水) 11日(木) 21日(土) 8月1日(木)	事前説明会 ・自己紹介、ボランティアセンターから (活動の心得、保険、登録など) ・活動メニューの紹介 ・グループワーク(活動の期待等)	【開催場所】 市総合会館 四日市南高校 四日市四郷高校 暁高校 ユマニテク医療福祉大学校 四日市看護医療大学	169名
7月26日(金) 29日(月) 30日(火) 31日(水) 8月2日(金) 9日(金) 10日(金) 20日(火) 23日(金)	子どもたちと遊ぼう！(保育園・サロン での子どもたちとの交流)	大谷台保育園 ひよこ保育園 サロンよってこ家	41名
7月25日(木) 8月7日(水) 8日(木) 9日(金) 13日(火) 14日(水) 20日(火) 21日(水) 22日(木) 24日(土) 31日(土)	高齢者とふれあおう！(高齢者施設で の話し相手・レクリエーション・夏祭りのお 手伝い等)	四日市ユートピアハウス 介護老人保健施設 みえ川村老健 特別養護老人ホーム うねめの里 よっかいち諧朋苑	61名
7月22日(月) 26日(金) 29日(月) 8月5日(月) 9日(金) 19日(月) 23日(金) 26日(月) 30日(金)	障害のある子どもたちと交流しよう！ (児童デイサービスでの障害児との交 流)	障害者福祉センター	27名
7月28日(日) 31日(水) 8月16日(金) 24日(土) 28日(水)	障害者スポーツと一緒に楽しもう！ 「ボッチャ」の体験 「SSピンポン」の体験	ボッチャサークル コロコロ四日市 エンジョイSSピンポンクラブ	50名
9月16日(祝)	参加者交流会 ・ボランティアのつどいへの参加		4名

(4) 人育て（人材育成）事業

①地域福祉活動拠点でのボランティア講座

地域でボランティア活動等に関心のある人に、地域の活動につながるきっかけや、福祉に関する知識や情報を学ぶ機会を提供し、身近な地域で活動する人材の育成と、企業や団体との連携した活動をモデルとして実施する講座「ボランティアカフェまなびや」をサロンよってこ家で開催した。

開催日	開催内容	参加者数
4月23日(火)	笑いヨガを体験しよう！ ～笑う門には 福来る～	9名
5月28日(金)	野菜をつかって かんたん・ヘルシー おやつをつくろう！！ Part 1	7名
6月25日(火)	野菜をつかって かんたん・ヘルシー おやつをつくろう！！ Part 2	9名
7月23日(火)	よってこ家 ハウスクリーニング講座 ～チャールクリーニング セつけんのすすめ～	11名
8月20日(火)	工作&おもちゃで遊ぼう！ ～学生さんも一緒にたのしめますよ～	18名
9月24日(火)	よってこ家 防災力UP講座 ～お手軽グッズで防災対策～	10名
10月29日(火)	よってこ家 絵手紙講座 ～感じたことを自由に思うままに描いて みよう～	5名
11月29日(火)	よってこ家でよく飛ぶ紙飛行機をつくろう！ ～どこまで飛ばせるかな？～	32名
12月24日(火)	マジック&バルーンアート講座 ～大人も子どもも一緒に楽しもう～	11名
1月28日(火)	脳トレ&ストレッチ講座 ～あたまもからだもスッキリ！～	16名
2月25日(火)	簡単！かわいい！ひな人形 ～もうすぐ 桃の節句ですね！～	15名
3月24日(火)	”もしバナゲーム”で交流！ ～自分自身の新たな気づきがあるかも～	中止

②障害者スポーツボランティア講座の開催

東京パラリンピック(2020年)、三重県での全国障害者スポーツ大会の開催(2021年)を控え、関係機関や団体・企業と連携しながら、障害者スポーツへの関心を高め、サポートする人材を増やすための講座や交流大会を開催した。

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
6月9日(日)	三重北勢健康増進センター 軽運動室	クスノキ杯(SSピンポン大会チーム戦) 8チームによる団体戦の大会 ※エンジョイ SSピンポンクラブの共催	63名
11月27日(日)	市中央緑地 第2体育館	四日市市企業交流ボッチャ大会 20チーム(14企業・団体)によるチーム戦 ※四日市市スポーツ協会と共催	86名
12月8日(日)	三重北勢健康増進センター 軽運動室	SSピンポン交流大会(第3回住友電装杯) 【ミニコンサート】 東京パラリンピック応援ソング「リアルビクトリー」他 栗山龍太氏(盲目のシンガーソングライター) 【大会】 24ペアによる予選リーグ、決勝トーナメント戦	94名

		【交流・体験】 当日自由参加による体験・交流 ※住友電装株式会社との共催	
--	--	---	--

③福祉教育推進事業・福祉教育への支援

(ア) 地域福祉教育推進（講師派遣）事業 [16校 27講座]

小・中・高等学校の児童・生徒対象に、福祉に関する知識や学びの機会に必要な講師派遣やプログラムの提案を、福祉教育を実践する学校と協議をしながら行った。

講師の紹介や調整、依頼やその経費については市社協が担う事業として実施した。

学校名	派遣した講師
県小学校	視覚障害者(エンジョイSSピンポンクラブ)
内部小学校	肢体障害者(ボッチャサークルコロコロ四日市) 四日市市社会福祉協議会職員
大矢知興義小学校	四日市市社会福祉協議会職員(車いすについて)
川島小学校	聴覚障害者(四日市市ろうあ福祉会)
	視覚障害者(エンジョイSSピンポンクラブ)
	肢体障害者(ボッチャサークルコロコロ四日市) 四日市市社会福祉協議会職員
	四日市市社会福祉協議会職員(ボッチャ体験)
塩浜小学校	視覚障害者(地域の方々、エンジョイSSピンポンクラブ)
羽津北小学校	視覚障害者(エンジョイSSピンポンクラブ)
日永小学校	視覚障害者(エンジョイSSピンポンクラブ)
	聴覚障害者(四日市市ろうあ福祉会)
八郷小学校	肢体障害者(地区在住・車いすユーザー)
内部中学校	四日市市社会福祉協議会職員(「プロに聞く「福祉のしごと」)
大池中学校	四日市市社会福祉協議会職員(「福祉・障害」)
	視覚障害者(エンジョイSSピンポンクラブ)
	四日市市社会福祉協議会職員(「プロに聞く「社会福祉士」)
橋北中学校	肢体障害者(ボッチャサークルコロコロ四日市) 市社会福祉協議会職員
	視覚障害者(エンジョイSSピンポンクラブ)
桜中学校	四日市市社会福祉協議会職員(「施設訪問事前学習」)
	四日市市社会福祉協議会職員(事後学習)
中部中学校	四日市市社会福祉協議会職員(「福祉・障害」)
	【中止】肢体障害者(ボッチャサークルコロコロ四日市) 四日市市社会福祉協議会職員
常磐中学校	四日市市社会福祉協議会職員(「福祉・障害」)
	肢体障害者(ボッチャサークルコロコロ四日市) 市社会福祉協議会職員
	視覚障害者(エンジョイSSピンポンクラブ)
	四日市市社会福祉協議会職員
富洲原中学校	視覚障害者(エンジョイSSピンポンクラブ)
四日市看護医療大学	医療ケアの必要な在宅重度障害者 四日市市社会福祉協議会職員

(イ) 福祉教育への支援 [3校]

地域福祉教育推進事業実施校以外の小学校・中学校・高等学校で、福祉教育に取り組んでいる

学校等の相談に応じ、取り組み内容についての情報提供や福祉用具の貸出等を行った。

(5) 活動支援（助成）事業

ボランティア保険の加入促進等

ボランティアが安心して活動できるよう、ボランティア活動保険等の加入促進と手続き支援を行った。ボランティア活動保険については、掛金の一部補助（一律一人 100 円）を実施。

ボランティア活動保険加入者 4,086 名

また、ボランティア活動を行う団体等が安心して活動できるようなボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償、送迎サービス補償の窓口業務を行った。

ボランティア行事用保険加入件数 412 件

福祉サービス総合補償加入件数 27 件従事者延人数 931 名

送迎サービス補償加入件数 14 件

(6) 協働事業

①四日市ボランティアキャンペーンの開催

幅広い世代、様々な分野のボランティアや企業と連携し、ボランティア活動の魅力を発信するとともに、ボランティア団体と協働での活動体験や福祉施設での交流等、各種プログラムを開催するボランティアキャンペーン。3月4日「**み**んなで**し**よにボランティア」（キャッチフレーズ）を四日市市のボランティアの日とし、また3月4日～31日までをこのキャンペーン期間として、下記内容を計画し、企業 11 社の協賛や協力を得た。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大半を中止せざるを得なかった。

●街頭PR活動 in ふれあいモール

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
2月22日(土)	四日市駅前東口広場 ふれあいモール	街頭PR活動 ・ティッシュ、チラシ配り ・ゆるキャラと一緒に写真を撮ろう！	7名

●はじめてのボランティア説明会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
3月3日(火) 10日(火) 28日(土)	市総合会館	・ボランティアに関する基礎知識 ・ボランティアの心がまえ ・ボランティア募集や活動紹介など	中止

●ボランティア体験活動メニュー 新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止

開催日	内 容	参加者数
3月7日(土)	50歳からのセカンドライフ講座 〔協力団体:シニアサークル「男の囲炉裏端」の会〕	中止
3月8日(日)	障害者スポーツ『ボッチャ』ボランティア (競技を知り、一緒に楽しみ、活動) 〔協力団体:ボッチャサークルコロコロ四日市〕	中止
3月11日(水)	アルミ缶を使って『たんぽぽ』施設利用者と交流しよう (アルミ缶アート作成、アルミ缶ボウリング等) 〔協力施設:障害者自立支援施設たんぽぽ〕	中止
3月13日(金)	はじめての点訳講座 〔協力団体:四日市市点訳友の会〕	中止
3月14日(土)	アルミ缶を使って『清和苑』施設利用者と交流しよう (アルミ缶アート作成、アルミ缶ボッチャ等) 〔協力施設:障害者支援施設清和苑〕	中止
3月15日(日)	傾聴コミュニケーション講座	中止

	〔協力団体:傾聴ボランティア「四傾聴」〕	
3月17日(火)	はじめての手話講座 〔協力団体:手話サークル和話輪の会〕	中止
3月18日(水)	ハナモモの木を植えよう！ 〔協力団体:緑の会羽津〕	中止
3月19日(木)	ボランティアニュースの封入作業(ボランティアニュース発送準備作業)	中止
3月25日(水)	聴き方を学ぼう！ 〔協力団体:『傾聴同好会』〕	中止
3月27日(金)	障害者スポーツ『サウンドテーブルテニス』ボランティア (競技を知り、一緒に楽しみ、活動) 〔協力団体:エンジョイ SS ピンポンクラブ〕	中止
3月28日(土)	ユニバーサルデザイン ミニ講座 〔協力団体:UDほっとねっと〕	中止

●ボランティアキャンペーン啓発及び体験活動メニュー企画運営委員会の開催
〔運営委員会〕

開催日	参加者	開催内容	参加者数
11月20日(水) 1月14日(火) 1月22日(水) 2月26日(水)	・ボランティア団体 (4団体) ・個人ボランティア	①四日市ボランティアキャンペーン 啓発や企画に関すること ②体験活動メニューに関すること	26名

②ボランティアのつどいの開催

様々な活動をしているボランティア団体や個人が一堂に会し、団体同士または、団体や個人とボランティアセンターのつながりを強化するために、情報交換や交流の場として開催した。

(実行委員会形式で開催)

開催日	開催場所	参加者	開催内容	参加者数
9月16日(祝)	四日市市文化会館 展示棟	・ボランティア団体 ・個人ボランティア ・一般参加	出会って 笑って 楽しんで ・講演会 新崎ゼミ「ボランティアに定年はない！アクティブシニアのすすめ」 講師:大阪教育大学教授 新崎 国広 氏 ・活動紹介 市内のボランティア団体や活動者が集まり、活動紹介、パネル展示、ボランティア体験等で交流	122名

〔実行委員会の開催〕

開催日	参加者	開催内容	参加者数
6月10日(月) 7月3日(月) 8月28日(水) 9月25日(月)	・ボランティア団体(4団体) ・個人ボランティア	①企画内容に関すること ②当日の運営等に関すること ③つどいの振り返り	35名

③コーディネートを考える会議の開催

ボランティアセンターのコーディネート業務の向上と企画・運営の充実を図るために、ボランティア関係機関(送り出し機関、受け入れ機関、中間支援組織、学識経験者など)が集まり、よりよいコーディネートや事業企画に向けて情報の共有や意見交換を行った。

開催日	参加機関	開催内容	参加者数
6月13日(木)	①住友電装株式会社 ②ユマニテック医療福祉大学校 ③作業所 来夢 ④四日市ウミガメ保存会 ⑤障害者相談支援センター ソシオ ⑥三重県ボランティアセンター ⑦学識経験者	・今年度の取り組み ・個別ニーズへの対応について(今年度取り組み方向・富田での取り組み・課題のあるボランティア希望者の活動調整)	11名
2月28日(金)	③作業所 来夢 ③よっかいち諧朋苑 ④四日市ウミガメ保存会 ⑤障害者相談支援センター ソシオ ⑥三重県ボランティアセンター ⑦学識経験者	・個別ニーズへ対応についての意見交換(富田での取り組み・個別相談の現状から) ・今年度事業の振り返りと次年度に向けて	10名

④学生〔高校生・大学生〕ボランティア連携事業

現在、つながりのある学校とのさらなる顔の見える関係づくりを目的に、イベントや活動等を通して連携強化に努めた。

学校名	活動内容
四日市看護医療大学 ボランティアサークル	①サマーチャレンジ事前説明会の開催、活動メニューへの参加 ②ボランティアのつどい実行委員への参画呼びかけ
ユマニテック医療福祉大学校	①介護福祉学科1年生へのボランティア講座の開催 ②各種ボランティア活動への参加 ③サマーチャレンジ事前説明会の開催、活動メニューへの参加、ボランティアのつどいへの活動紹介掲示
皇學館大学 ボランティアルーム	①ボランティアルーム学生の定期訪問、情報交換 ②ボランティアルーム年間活動報告会への参加
四日市四郷高校、四日市南高校、暁高校	①サマーチャレンジ事前説明会の開催、活動メニューへの参加 ②各種ボランティア活動への参加
中部中学校、港中学校、笹川中学校、西朝明中学校、大谷台小学校、内部東小学校、富田小学校、富洲原小学校	四日市ボランティアキャンペーンへの参加・協力

【福祉ボランティアのまちづくり事業 まとめ】

令和2年3月31日現在のボランティアセンターへのボランティア団体登録数は、178団体6,128名、また個人登録数は、156名であった。

登録団体の活動分野は、福祉分野を含め、多岐にわたっている。個人ボランティア登録者も活動状況はさまざまで、はじめてのボランティア説明会参加者も含め、状況に応じて登録や登録継続について確認している。

ボランティアコーディネートについては、相談支援管理システムを活用し、職員間の情報共有や対応をすすめている。依頼者側の「ボランティア」への理解や受け入れ状況については、まだまだ、ボランティアは“安価な担い手”的な依頼も多く散見されるため、今後も双方で確認しあうなど、引き続き課題の一つとして取り組み、コーディネート力をアップしていきたい。

事業としては、ボランティアのつどいやボランティアキャンペーンには例年、実行委員会を組織し、事業実施やそれに至る企画等にボランティアの方々の協力を得ながら実施している。しかし、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、全てのプログラムを中止した。関係団体や施設、ボランティアからも次回への開催について期待をいただいております、今後も皆さんの力を借りながら、より参加しやすい企画をすすめていきたい。

2021年には三重とこわか国体・三重とこわか大会が開催される。障害者スポーツボランティア講座では、デモンストレーションスポーツでもあるSSピンポンや、三重とこわか大会から正式種目になるボッチャの競技について取り組みを展開した。「企業交流ボッチャ大会」は、従来の交流大会を拡充し、企業や関係団体と協力しながら実施したことで、新たな企業とつながることができた。今後も、

多くの市民の方々に障害者スポーツの魅力を知っていただき、障害者アスリートを応援する機運を高める企画の充実を図りたい。

また、身近な地域で活躍できるボランティアを増やすことを目的に、福祉活動拠点での講座を開催。様々なメニューの実施で、新たに拠点の活動につながる方もあり、今後も生活支援コーディネーターと連携・調整しながら活動の広がりを模索していく。

夏休みの期間には、高校生、大学生、専門学校生を対象にしたボランティア体験プログラム「サマーチャレンジ」を引き続き実施。参加する学生がそれぞれの目的を持って参加、ボランティア活動を体験し、振り返ることで、自身の目的達成感や今後の進路にもつながるきっかけの一つとして利用してもらっている。事前説明会を市内の高校等の協力を得て学校で開催したことで、参加学生の口コミ等により、事前説明会参加者が倍増した。参加希望者の増加に伴い受入れメニューが不足し、新たに受入れをお願いする状況も生じた。また、この事業をきっかけに夏休み期間以外にも、活動希望を寄せてくれる学生も増加した。今後も、学生の希望に添えるよう、新たな受入れ先を開拓していくとともに、多くの学生の参加が得られ、次のステップにつながるよう企画の充実を図りたい。

事業実施の他、ボランティアセンターの重要な業務のひとつであるコーディネートにより充実を図るために、関係機関が集まってコーディネートを考える会議を開催し、ボランティアに関する課題の抽出や情報交換・情報共有を行い、事業も含めたこれからの方向やすすめ方についてアドバイスをいただいた。今後もさらに、事業やいろいろな機会を通してさまざまな機関との関係づくりを図ってきたい。

3. 福祉施設の管理運営

(1) 中央老人福祉センター

施設の市民利用に供するほか、民踊、水墨画、大正琴教室を開催するとともに看護師を配置し、機能回復訓練及び健康相談などに応じるとともに毎日健康体操をして高齢者の健康管理に努めた。また、利用者ニーズに基づき、いきいき体操、音楽会を開催した。さらに三重県警に協力を得ながら交通安全や振り込め詐欺を未然に防ぐための啓発を行った。

・健康相談日数 241 日 ・延人数 6,277 名 ・1日平均 26 名

【利用状況】

年 度	団体利用数		一般利用数	計	一日平均	開館日数
31 年度	282 団体	4,082 名	21,662 名	25,744 名	97 名	267 日
30 年度	291 団体	4,660 名	26,364 名	31,024 名	105 名	295 日

(2) 母子・父子福祉センター（指定管理施設）

母子家庭及び寡婦の経済的・精神的負担を軽減し、生活の安定と自立を促進するため、各種相談や技能習得講座及び交流事業を実施した。また、趣味を通じての生きがいやふれあいづくりを目的としてサークルを支援した。

・相談件数 1,741 件（30 年度相談件数 736 件）

【技能習得講座・サークル実施状況】

講座・サークル名	回 数	延人数
技能習得講座		
・パソコン	62 回	95 名
交流事業		
・親子デイキャンプ	1 回	8 名
・飾り巻き寿司教室	1 回	9 名
サークル		
・書 道	23 回	248 名
・手 芸	24 回	105 名
・編み物	24 回	144 名
・和 裁	30 回	56 名
・リフォーム	22 回	50 名

合 計	187 回	715 名
30 年度	154 回	896 名

(3) おもちゃ図書館

障害の有無に関わらず、子どもたちが「おもちゃ」を通じて、情操や知的・身体的機能を高めてふれあうことや、おもちゃ図書館や移動おもちゃ図書館へ来館する親の子育て支援を目的とし、おもちゃ図書館ボランティア「よっちゃんグループ」の協力を得て運営を行った。

●おもちゃ図書館利用実績

	31 年度	30 年度
児 童	3,273 名 (障害児 67 名)	3,226 名 (障害児 62 名)
保 護 者	2,792 名	3,025 名
その他	87 名	17 名
利用者合計	6,152 名	6,268 名
年間開館日数	223 日	215 日
1 日あたりの利用者数	28 名	29 名

●集団来館利用実績 [8 回]

施設名	回 数	延べ利用者数(再掲)
児童発達支援センターあけぼの学園	4 回	42 名
特別支援学校 聖母の家学園	1 回	7 名
社会福祉法人放光福祉会 みのり保育所	1 回	4 名
株式会社 つばみ保育園	2 回	11 名

●移動おもちゃ図書館 [9 回 中止 2 回]

実 施 日	種 別	利用者数(再掲)
5 月 16 日(水)	橋北子ども園子育て支援センター	43 名
6 月 5 日(水)	下野中央保育園子育て支援センター	51 名
7 月 11 日(木)	児童発達支援センター あけぼの学園	31 名
8 月 14 日(水)	三重地区民児協あかちゃんちびっこ集まれ	39 名
11 月 13 日(水)	海蔵保育園子育て支援センター	28 名
11 月 28 日(木)	児童発達支援センター あけぼの学園	38 名
12 月 11 日(水)	八郷西保育園子育て支援センター	40 名
2 月 26 日(水)	笹川保育園子育て支援センター	中止
3 月 11 日(水)	橋北子育て支援センター ぽっぽ	中止
	合 計	270 名

●おもちゃ図書館まつり

実施日 令和元年 10 月 31 日 (木)
 場 所 四日市市文化会館 第 4 ホール
 参加数 190 名 (乳幼児 100 名、保護者 88 名、その他 2 名)
 内 容 魚釣り・ボーリング・まとあてなど体を使って遊べるコーナー、乳幼児向けのおもちゃコーナー、手づくり布絵本コーナーなどの各種コーナーの設置と、ボランティアによる手づくり人形劇『おおきなかぶ』の開催。

福祉支援課

市民の求める多様な福祉ニーズに対応するため、障害者自立支援事業、福祉施設管理運営事業、介護保険事業等を実施し、利用者本位の福祉サービス提供に努めた。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止について、国・県・市からの通知を適正に遵守し、利用者と職員の健康の確保に努めた。

1. 障害福祉支援室

(1) 障害者自立支援施設「共栄作業所」(指定管理施設)

「共栄作業所」は障害者自立支援法で定められた新事業体系への移行を平成 23 年 4 月に実施し、就労継続支援 B 型事業所として 施設運営を行なった。また、第四期指定管理の 1 年目を迎えた。当作業所は、一般の事業所に雇用されることが困難な利用者に対し、生産活動・その他の活動をとおしての仲間づくりや生活面での自立を目指して支援を行った。また、受注作業や自主製品作業に取り組むとともに、利用者の高齢化・障害の重度化が進行する中で、個々の能力や身体機能に見合った作業と生活の支援を行うことで、心身ともに充実した日々が送れるように努めた。

さらに、利用者が地域で充実した生活を送れるよう、保護者会（NPO 法人）が、主体となって取り組んできたグループホーム「クローバーの家」、「しらとりホーム」、「第 2 クローバー」の運営についても、グループホーム担当者会議等へ参画し、連携を図った。

利用者数 30 名（定員 37 名）

活 動	内 容
自 主 製 品 作 業	共栄の織り作業、縫製作業（令和元年 9 月を以って終了）
受 注 作 業	リサイクル解体作業、封筒点字刻印作業、段ボール組み立て作業、農耕関連作業、割箸の袋入れ作業、段ボール製品穴あけ作業、紙製品加工作業、木工製品加工作業、物流関連作業
実 習	目的別社会実習（買物・ボウリング等）サークル活動（リズムダンス、DVD鑑賞、カラオケ、ドライブ、町に出よう）
社 会 体 験	即売出店、社会・事業所見学、共栄の織り展示即売会
運動・レクリエーション	散歩、余暇活動、体操、音楽鑑賞、ミニ運動会、ボランティア交流会

- ・四日市市の指定管理施設に求められる「公の施設」としての位置づけと、第四期指定管理の方向性を踏まえ施設運営を行った。
- ・利用者の作業工賃の向上のため、新たな販路としてインターネットでの自主製品の販売に向け、インターネット販売サイト「織りの郷」を協力企業やその他の社会資源と協働し、8 月から開始した。
- ・第 1 回目の「共栄の織り展示即売会」を作業所別館で開催し、共栄の織りの PR と販売の拡大に努めた。
- ・地元自治会・社協・ボランティアとの連携を図り、作業への協力や、地域交流会(たんぼぼと合同での諏訪太鼓演奏の鑑賞会、ミニ運動会)、ボランティア交流会(カラオケ大会) をとおして利用者との交流促進をした。
- ・実習生、見学者を受け入れ、利用者との交流や障害者理解の促進、福祉体験の場を提供した。平成 31 年度は四日市市新規採用職員 15 人、笹川中学校 3 人、楠中学校 3 人の受け入れを行った。
- ・地域に根ざした施設運営を図るため、地域住民、保護者代表等で組織する「施設サービス運営委員会」を定例的に開催した。
- ・昼の休憩時に遠出の散歩などによる体力づくりに努めるとともに、利用者の健康状況に合わせた食事の提供を行った。
- ・四郷文化祭ふるさとまつり、四日市萬古まつり等のイベントなどに参加し、当事業所の PR と併せて啓発活動を行った。
- ・自主製品の販売促進のため、地区文化祭などの各種即売に積極的に参加した。また、常時、製

品の展示・販売を常設の店舗で行った。

- ・全国社会福祉協議会セルフ協の承認を受けた「幻のなたね油」の販売を継続し、農耕関連作業による就労支援活動の充実を図った。
- ・毎月1回地震または火事の発生を想定し、避難訓練を行い、災害時の行動・対応について及び危機管理意識の向上を図った。
- ・不審者対応訓練を年2回（10月、3月）に行い、不測の際の防犯の備えとした。
- ・利用者へのサービスの質の向上を図るため、みえ福祉第三者評価の受審結果に基づく施設運営を行った。
- ・本館ならびに別館の照明のLED化工事を推進し、就労支援に係る環境の整備に努めた。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
31年度	開所日数	20	19	20	22	21	19	21	20	20	19	18	21	240
	延利用者数	615	564	609	651	597	534	609	569	556	531	464	549	6,848

(2) 障害者自立支援施設「たんぽぽ」（指定管理施設）

常時介護を必要とする重度の障害者に対して、利用者一人ひとりに応じた「個別支援計画」を作成し、排泄・食事等の介護や創作活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な支援を行った。また、障害者の社会参加に重点を置き、地域住民との交流・社会体験の機会を多く設け、障害者福祉の増進を目指した。

さらに、利用者の重度化と高齢化による機能低下に対応して、家族や関係機関との連携を深め地域で豊かな生活が実現していくための支援を実施した。

利用者数 24 名（定員 35 名）

活 動	内 容
作 業 活 動	アルミ缶回収、缶つぶし、紙すきはがき
自 立 訓 練	散歩、身体機能訓練、理学療法（相談を含む）、乗馬療法、プール
生 活 活 動	食事、排泄、更衣、清潔・整容、社会体験、グループ外出、半日外出、一日外出
文 化 活 動	音楽療法、レクリエーション、園芸、貼り絵などの創作活動、季節行事活動、音楽活動、ピアノ鑑賞、本の読み聞かせ
在 宅 支 援	相談支援事業所・各種サービス機関等との連携、福祉制度・福祉サービス情報の提供

- ・利用者の重度化と高齢化・ご家族の介護力低下に対応して、利用者の健康管理と身体機能維持のための取り組みに重点を置くとともに利用者一人ひとりの状況に合わせた支援を行った。
- ・一人ひとりの意思表示を大切に個別性に配慮した支援として、本人・家族と職員と相談し選んだ場所に年1回外出する「一日外出」を全6コース9班に分かれ実施した。
- ・アルミ缶回収を通して、地域住民、企業、保育園、小・中学校との交流を深め障害理解の促進に努めた。
- ・地域交流の取り組みとして、たんぽぽ主催のお茶会・餅つき大会等の地域交流行事の開催と地域清掃活動を実施した。また、学校や地域に出向き行事への参加することで交流を深めた。
- ・地域に根ざした施設運営を図るため、地域住民、保護者代表、ボランティア代表等で組織する「施設サービス運営委員会」を7/24、11/13、3/4の3回開催した。（3/4の委員会はコロナウイルス感染拡大防止のため書面にて報告を行った。）また、四郷地区の防災行事・人権研修等に参加し、地域の一員としての活動に取り組んだ。

- ・西日野福祉ゾーン合同防災会議の合同防災会議・合同訓練・合同研修に参加した。また、社協 BCP 訓練に利用者・職員で参加し、防災意識を高めるとともに、非常食の試食等行い備蓄品の見直しを行う機会とした。
- ・危機管理の取り組みとして、利用者個々の健康管理カード・災害時緊急対応カードの年 1 回の更新と地震または火災を想定した避難訓練を年 4 回実施した。また、防犯対策として、職員に対して不審者対応マニュアルの周知と防犯訓練を行った。
- ・虐待防止の取組として、セルフチェックリストを用いて日頃の支援を振り返るとともに課題に対しグループワークを行い支援の向上に努めた。
- ・実習生の受け入れにおいて、介護福祉士現場実習 2 人、教員免許介護等体験 4 人、四日市市新規採用職員の 15 人、また卒業後の進路実習としての北勢きらら学園生徒 2 人の受け入れを行った。その他、西笹川中学校職場体験学習 1 人、笹川中学校ボランティア活動体験計 31 人を受け入れた。
- ・日中一時支援事業は、一人でも多くの方に利用していただくとともに、平等性の保たれた利用がなされるよう配慮し、契約利用者数 6 名、延べ利用者数 30 名のサービスを提供した。利用にあたっては、利用者の要望の聞き取りや学校等の他機関との連携を図りながら、質の高い支援の提供に努めた。

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
31 年 度	開所 日数	20	19	20	22	21	19	21	20	20	19	18	21	240
	延利用 者数	410	365	370	424	402	368	424	392	369	380	355	428	4,687

(3) 障害者自立支援施設「あさけワークス」(指定管理施設)

就労や生産活動の機会の提供、一般就労に必要な知識や能力向上のために必要な訓練を行う施設として適切な運営に努めた。利用者の障害特性を把握し、一人ひとりに応じた支援プログラムを考え、個別支援計画に基づいて支援を実施し、利用者の就労意欲を引き出し、利用者の能力に応じて就労移行支援事業等への利用を目指すよう取り組みを行った。

利用者数 12 名 (定員 20 名)

活 動	内 容
受 注 作 業	シール貼り、ゴム製品バリ取り、銅線紙はがしなど
自 主 作 業	点字名刺・名刺刻印作業、ストラップ、クラフト製品作りなど
リサイクル作業	アルミ缶回収、空き缶分別作業
社 会 体 験	施設内研修、グループ別行動、外出体験
地 域 交 流	夏まつり、地域清掃、福祉の勉強会、八郷ふれあいまつり

- ・地域交流の一環として「夏まつり」を開催し、総勢 130 名を越える地域の方に参加してもらい、施設及び障害者に対する理解を一層深める事ができた。
また、地域行事である「八郷ふれあいまつり」に参加し、地域住民との交流に努めた。
- ・八郷社会福祉協議会との共催事業「福祉の勉強会」を開催し、がんの予防についての学習の機会を設けるとともに、地域住民と施設利用者との交流を図った。
- ・体験学習の場として、市内小・中学校生徒の福祉体験や職業体験などを受け入れ施設や障害への理解を促す機会を提供した。平成 31 年度は福祉体験 66 人、職場体験 4 人の受け入れを行った。
- ・施設利用者の「今知りたいこと」をテーマに、施設内研修を開催した。研修内容の選定等を利用者自身が行い、自己選択・自己決定のスタンスを尊重した。

- ・施設も地域の一員であることを自覚するために、月1回程度、利用者・職員全員で朝明川の堤防沿いを中心に地域の清掃を行った。
- ・毎月1回地震または火事の発生を想定し、避難訓練を行い、災害時の行動・対応について、及び危機管理意識の向上を図った。
- ・障害者虐待防止や障害者差別解消法などの要点を施設全体で学習し、障害者の権利擁護についての意識向上を図った。
- ・卒業後の進路実習としての北勢きらら学園生徒1名の受け入れを行った。
- ・利用者の増員に向けて、施設見学や実習の受け入れを積極的に行った。
- ・経済的自立の観点から、平均工賃月額1万1千円を目指し、新規受注作業の確保に努めた。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
31年度	開所 日数	20	19	20	22	21	19	21	20	20	19	18	21	240
	延利用 者数	206	195	205	220	201	177	215	186	208	189	177	199	2,378

(4) 障害者福祉センター（指定管理施設）

障害のある人の社会参加と交流の促進を目的として、障害者デイサービス事業等を実施するとともに、併せて障害者福祉関係団体の支援や障害者ボランティアの養成、障害者福祉の啓発等を行った。各事業の実施にあたり、市社協がもつ様々な部署と連携して、公の施設として公正・公平かつ専門職によるサービスの提供に努めた。

①障害者デイサービス事業

(ア) 機能訓練事業

言語訓練では、主に脳血管障害の後遺症により、言語に障害のある人を対象に言語症状や社会参加の状態に合わせて個別及び集団による訓練を行った。自分から発信することのなかった人が表情豊かに発信することが増えた一方、家族送迎ができなくなった人も現れ、継続利用による両極の変化が見られた。高次脳機能障害者の集団訓練は、社会参加の機会を広げ、複数人でのコミュニケーションの実践の場になった。

理学療法では、事故や疾病の後遺症などにより、身体機能が低下した在宅の人を対象に機能訓練を実施した。個別の訓練内容を記したカードを作成し、利用者の主体性を伸ばす事や、理学療法士、看護師との関わりの中で、自身の身体機能について見つめなおす機会となった。

(イ) 社会適応訓練事業

歩行訓練では、白杖による単独歩行を目指すだけではなく、同行援護（ガイドヘルプ）のサービス利用に向けて、生活上の移動面の自立支援を行った。また、白杖の取得、使い方からガイドヘルプを受ける技術の獲得までを支援した。歩行訓練でのかかわりをきっかけに、様々な情報提供をする中で、利用者の社会参加の機会が広がった。

また、「点字」という文字を獲得することで、自分自身で生活に必要な情報を得られるよう点字教室を開催した。視覚と聴覚に障害のある重複障害者に対しては指点字を用いてコミュニケーションを図り、新たに参加した利用者とも指点字交流が広がった。

(ウ) 創作的活動事業【まるわかり四日市（宿×塾）】

創作的活動を通して生活の中に潤いをもたらすとともに、障害種別を越えた仲間づくりを目的に開催した。本年度は四日市の魅力を歴史・産業・工業・文化・観光を切り口に座学と実地見学で再発見する講座を実施した。講座を通じて障害当事者が地域に出かけ、その先で様々な体験をして楽しみながら交流を図れたことは、地域における障害理解という副次的効果も得られた。

●障害者デイサービス事業（成人）実施状況

31 年度				契約者	回数	延利用者数
	1	機能訓練事業	言語訓練	6 名	183 回	183 名
			社会適応訓練Ⅰ・Ⅱ	5 名	28 回	68 名
			終了者フォロー等		248 回	248 名
			理学療法	28 名	442 回	442 名
	2	社会適応訓練事業	点字教室 (視覚障害者)	9 名	19 回	107 名
			歩行訓練 (視覚障害者)	1 名	32 回	32 名
			相談等		17 回	17 名
	3	創作的活動事業	まるわかり四日市 じゅく(宿×塾)	11 名	18 回	155 名
30 年度				契約者	回数	延利用者数
	1	機能訓練事業	言語訓練	7 名	217 回	217 名
			社会適応訓練Ⅰ・Ⅱ	5 名	32 回	74 名
			終了者フォロー等		262 回	262 名
			理学療法	30 名	580 回	580 名
	2	社会適応訓練事業	点字教室 (視覚障害者)	6 名	20 回	107 名
			歩行訓練 (視覚障害者)	1 名	36 回	36 名
			相談等		11 回	11 名
	3	創作的活動事業	ハーモニカ教室	13 名	20 回	179 名

(エ) 障害児デイサービス事業

18 歳以下の児童を対象に、長期休暇中に活動する場を提供するとともに、保護者のレスパイト（休息）等を目的として実施した。家庭や学校では体験できないことを企画し、自律と自主性を育んだ。

●障害者デイサービス事業（児童）実施状況（利用契約者数 42 名）

	回 数	小学生	中学生	高校生	合 計
31 年度	13 回	28 名	11 名	14 名	53 名
30 年度	12 回	28 名	11 名	11 名	50 名

②失語症会話パートナーとの交流会

失語症者が失語症会話パートナーを利用して、会話を楽しむ場を提供した。失語症者、会話パートナーともに聞く姿勢ができており、重度失語症者であってもゼスチャーやノートを見せるなどして積極的にコミュニケーションを取ろうとするようになるなど、継続利用している効果が現れている。

31 年度			参加者	回数	延参加者数
	失語症者		12 名	22 回	177 名
	失語症会話パートナー		14 名		170 名
30 年度			参加者	回数	延参加者数
	失語症者		11 名	22 回	138 名
	失語症会話パートナー		17 名		137 名

③難聴者・中途失聴者教室

新しい補聴システムや機器を知り、体験する教室を企画したが、新型コロナ感染症感染拡大防止のため、中止とした。

開催日【中止】	内 容	参加者
3月22日(日)	「きこえの未来を変える 音のバリアフリー体験会」 1. 補聴器など最新情報紹介 2. ミライスピーカー Moby体験 3. comuoon体験	3

④障害者相談業務

障害者の自立と社会参加を促進するため、障害者の抱えている課題の解決に向けて言語聴覚士、理学療法士、歩行指導員など経験豊かな専門職員が相談にあたり、より専門的な相談支援機関への紹介等を行った。

⑤障害者福祉関係団体の支援

各団体の活動拠点として貸館や、備品の貸出を行った。利用者アンケートやセンター連絡会にて意見を聴取し、より快適な活動環境の整備に努めた。また、障害者大会の成功に向けて支援を行った。

登録団体：四日市市身体障害者団体連合会（6 団体）、心身障害者団体連絡協議会（3 団体）、障害児者関係団体（25 団体）、創作的活動自主サークル（10 サークル）、ボランティア団体（14 団体）の登録がある。

⑥障害者福祉に関する啓発・情報提供

(ア) かけはし掲載 3 回

社協の広報紙『かけはし』の『障害者福祉センターだより WITH』の常設コーナーで市民向けに広報した。今後も紙面の充実や工夫をはかる。

(イ) 障害者福祉講座の開催

開催日	内 容	講 師	参加者
1 月 18 日(土) 於:市商工会議所	「地域と Sports のしあわせな関係 ～東京 2020 想いをつなげ、ともに 歩むために～」	東京オリンピック・パラリンピック競 技大会 組織委員会 イノベーション推進室 エンゲージメント企画部長 天野 春果氏	65 名

(ウ) 出前講座の開催

障害者が地域で安心して暮らせるよう地域の障害者に関する理解の促進を図るため出前講座を開催した。地域福祉課との連携で民生委員児童委員協議会からの依頼が増えた。従来の講師に加え、新たな障害当事者講師を開拓することができ、提供できる講座の内容を充実させることができた。

開催日	依頼者／開催場所	対象	内容・講師	参加者
6 月 3 日(月)	常磐地区民生委員児童員協議会 場所:常磐地区市民センター	常磐地区 民生委員 児童委員	盲ろうの理解 「盲ろうと向き合って」 講師:北澤 真紀 氏	25 名
6 月 21 日(金)	港地区民生委員児童員協議会 場所:なやプラザ	港地区民 生委員児	肢体・構音障害の理解 「車イスの生活」	9 名

		童委員	講師:木場 茂 氏	
7 月 22 日(月)	神前地区民生委員児童員協議会 場所:神前地区市民センター	神前地区 民生委員 児童委員	聴覚障害の理解 「聴覚障害の理解」 講師:藤田 逸歩 氏	11 名

(5) 障害者自立生活支援センター「かがやき」

障害のある人が地域で自分らしい、心豊かな生活が送れるよう幅広い支援に努めた。支援対象者は身体障害者だけでなく、精神障害と身体障害が重複した重度の人や高次脳機能障害の人も少なくなく、関係機関による支援ネットワークの構築や連携が求められた。

①相談業務

●相談者数（障害内訳）

年 度	実人員	身体 障害	重症心身 障害	知的 障害	精神 障害	発達 障害	高次脳 機能障害	その他
31 年度	190	124	1	23	3	2	4	36
30 年度	172	111	2	20	7	2	1	18

●相談方法（件数）

年 度	訪問	来所	同行	電話・ メール	ケース 会議	関係機関	その他	合 計
31 年度	337	118	45	1,051	28	1,773	71	3,423
30 年度	369	234	63	1,202	55	2,532	87	4,542

●相談内容（件数）

年 度	福祉 サービス	障害 病状の理解	保健・医療	不安解消 情緒安定	保育・教育	家族関係 人間関係	家 計・ 経 済
31 年度	2,177	31	359	105	0	73	71
30 年度	3,072	56	415	83	4	240	59

年 度	生活技術	就 労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他	合 計
31 年度	214	65	15	50	263	3,423
30 年度	216	133	8	32	224	4,542

②自立支援協議会生活支援部の運営

四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会の専門部会である生活支援部において、地域課題の抽出と解決に向けた協議を行った。前年度に引き続き、災害時に地域で孤立しない関係づくりをテーマに協議した。災害時には通常の支援が受けられないことを想定し、誰からでも支援を受けることができるよう、個人の支援情報がすぐわかるような情報（ノート）は仕上げる段階に入り、自立支援協議会で承認を得た後、個人や地域、関係者へ周知をしていく。

また、各事業所連絡会で挙げた課題をテーマに研修会を行い、課題解決のヒントを得たり、支援スキルの向上を図ったりした。

生活支援部会：3 回

準備委員会：3 回

構成委員：行政、障害者支援施設、共同生活援助事業所、生活介護事業所、就労継続支援 B 型事業所、居宅介護事業所、障害当事者、相談支援事業所

連絡会：（居住系サービス事業所連絡会関連会議） 3 回（うち研修会 1 回）

（居宅介護事業所連絡会関連会議） 3 回（うち研修会 1 回）

(通所事業所連絡会関連会議)
(GH連絡会関連会議)

4 回 (うち研修会 1 回、施設見学 1 回)
6 回 (うち研修会 3 回、利用者交流会 1 回)

③特定相談支援事業

障害者福祉サービス等を申請した障害者について、サービス等の利用計画の作成及び利用計画のモニタリングを行い、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、よりきめ細かく支援をした。

●計画支援実績

年 度	契約者数	新規計画	モニタリング	更新・変更計画
31 年度	164 名	6 件	334 件	168 件
30 年度	160 名	14 件	235 件	192 件

(6) 視覚障害者福祉センター

市内在住の視覚障害者を対象に、はり・きゅう・マッサージを職業としている人の技術向上を目的とした三療学術講習会を 2 回開催した。

また、情報提供のため、市の公文書などの点訳業務 (136 件) を行ったほか、団体活動の場を提供した。

講座名	内 容	利用者数
三療学術 講習会	令和元年 8 月 22 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分 「今の体の状態は？高めよう柔軟性！広げよう可動域！」 一般社団法人三重県鍼灸マッサージ師会 理事 伊藤 文恵 氏	13 名
	令和 2 年 1 月 23 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分 「スポーツ領域における鍼灸・マッサージ治療」 令和鍼灸院 院長 佐々木 和郎 氏	12 名

(7) 障害者就業・生活支援センター「ブラウ」

障害のある人が一人ひとりの働く能力や個性を活かし、生きがいと働きがいのある生活が送れるよう、雇用、保健、福祉、教育等の地域の関係機関との連携の下、就業面及び生活面における一体的な支援と障害のある人や企業等に対する就職後の継続的な支援を実施して職場定着を目指した。支援にあたっては、障害のある人の相談内容が多様化しており関係機関を含めた雇用と福祉のネットワークの構築・連携の強化が求められた。

①相談業務の実施

●登録状況 (人数)

年 度	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合 計
31 年度	79	347	365	20	811
30 年度	79	320	333	10	742

●ツール別延べ相談回数 (回)

年 度	来 所	電話 文書メール	家庭 入所施設訪問	職場訪問	他の支援機関	合 計
31 年度	997	2,431	172	694	1,135	5,429
30 年度	1,280	3,257	392	853	2,121	7,903

●相談内容別延べ相談回数（回）

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合 計
就職に関する相談	173	506	1,104	160	1,943
職場定着に係る相談	92	975	752	15	1,834
日常生活に係る相談	27	129	125	1	282
就業と生活の両方にわたる相談	66	573	699	32	1,370
合 計	358	2,183	2,680	208	5,429
30 年度	726	3,298	3,657	222	7,903

●就職した障害者の数（名）

年 度	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合 計
31 年度	6	38	34	4	82
30 年度	10	37	35	1	83

②関係機関との連携

（ア）自立支援協議会雇用部会、関係機関連携会議（9 回）

四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会の専門部会である「雇用部会」の運営を行い、各関係機関とのネットワークの構築と障害者の雇用に関わる地域課題の共有と解決に向けての協議、地域啓発の取り組みを行った。

- ・参加機関 三重障害者職業センター、三重県雇用対策課、北勢福祉事務所、四日市公共職業安定所、一市三町障害福祉課、市商工課、学校関係、就労移行支援事業所、精神障害者相談支援事業所、当事者団体等 22 機関。

（イ）障害者雇用サポートフェア（市商工課・四日市公共職業安定所と共催）

企業の方に就労移行支援事業所を知ってもらい、障害特性、障害者雇用に関して配慮すべき点、各種支援機関の支援制度を体系的に理解していくことで、一層の障害者雇用の促進を図ると共に既に事業所に就労している障害者の離職を防止し、定着するための機会として実施。プラウも移行支援事業所とともにブースを構え、企業へ業務内容の説明や実習制度の案内等を行った。併せて、障害者を雇用している百五管理サービス株式会社の企業見学を実施。

日 時：令和元年 11 月 11 日（月）午前 9 時～午後 5 時 35 名参加

（ウ）A 型事業所連絡会の開催（3 回）

障害福祉計画をすすめる体制づくりの中で福祉施設から一般就労に向けての取り組みの一環として、就労継続支援 A 型事業所の実情や課題等について話しあった。

（エ）就労移行推進協議会の参加（8 回）

県内の障害者就業・生活支援センターと就労移行支援事業所との連携強化と就労移行支援事業所のスキルアップを目的に会議を 6 回実施。また、就労移行支援事業所のアセスメント力の強化を目的に県内 2 ヶ所の会場で「就労支援の未来（あす）を考えるセミナー」を開催。（セミナー参加者：計 34 名）

③研修会の開催（就労・定着支援）

企業向け研修会

「障害者雇用の動きを学び、これからの障害者雇用について考える」をテーマに講演及び企業と支援機関でグループワークを実施。

日 時：令和元年 10 月 8 日（火）午後 1 時～5 時 37 名参加

講 師：三重労働局 浦幸生氏

④職場定着促進（職場定着研修会）

在職中の障害者を対象にグループワーク等で職場での悩み等を話し合う交流の場を提供し、不適応課題の早期発見・改善を図り、職場定着の促進を目指した。

第1回 6月8日（土） 26名参加 「大切なお給料の使い方を考えてみよう」

第2回 10月19日（土） 17名参加 「健康体操教室」

第3回 令和2年1月25日（土） 18名参加 スマートフォン・携帯電話の安全な使い方を学ぶ。

(8) 障害者就労支援事業ワークセンター

就労を希望する障害者を対象に、市役所等において、就労に向けた職場訓練を行い、就労に対する意識づくりを高め、次のステップへの土台作りを行った。

①職場実習の状況

●実習した障害者別の人数と日数

年 度	身体障害	精神障害	合 計
31 年度	2 名	5 名	7 名
	113 日	193 日	306 日
30 年度	2 名	6 名	8 名
	45 日	214 日	259 日

●職場実習後の状況

一般就労（障害者枠）3名、就労継続支援B型事業所2名、在宅2名

●訓練作業場所の状況

年 度	市役所 執務室	市役所 執務室外	ワークセンター	合 計
31 年度	19 回	42 回 (市職員 26) (ワークセンター職員 16)	245 回	306 回
30 年度	27 回	28 回 (市職員 17) (ワークセンター職員 11)	204 回	259 回

※市役所執務室 …市役所庁舎内 各課事務室

市役所執務室外…庁舎内会議室・市総合会館内研修室・庁舎内印刷室・庁舎内集配室

2. 高齢福祉支援室

(1) 中地域包括支援センター

①包括的支援事業

(ア) 総合相談支援業務及び権利擁護業務

本人、家族、近隣の住民、地域のネットワーク等を通じた様々な相談を受け、管内の在宅介護支援センターと連携し、相談内容に即したサービスや制度に関する情報を提供しながら対象者への個別支援を行った。また、高齢者の権利擁護の観点から支援が必要な方については、四日市日常生活自立支援センター等の関連機関と連携し対応を行った。(相談件数年間 7,399 件)

<相談件数>

(件)

		本 人	家 族	その他	合 計
31 年度	来 所	57	54	272	383
	訪 問	5512	123	83	5718
	電 話	267	370	661	1298
	合 計	5836	547	1016	7399

上記のうち、認知症（疑いを含む）に関する相談件数 年間 1,617 件

高齢者虐待に関する相談件数 年間 104 件

四日市日常生活自立支援センターと連携し対応を行った件数 年間 61 件

		本 人	家 族	その他	合 計
30 年度	来 所	39	56	25	120
	訪 問	5,511	139	80	5,730
	電 話	170	301	290	761
	合 計	5,720	496	395	6,611

上記のうち、認知症（疑いを含む）に関する相談件数 年間 1,585 件

高齢者虐待に関する相談件数 年間 55 件

四日市日常生活自立支援センターと連携し対応を行った件数 年間 33 件

②包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(ア) 在宅介護支援センター中ブロック会議

管内の在宅介護支援センター間及び地域包括支援センターと管内の在宅介護支援センター間の連携・情報交換を目的に開催。今年度は、各地区で挙げられた地域課題をもとに、地区・圏域・市レベルそれぞれで取り組むべき課題の整理・解決方法についての意見集約を行った。(年 3 回)

(イ) 介護サービス事業者との連携

四日市市介護保険サービス事業者連絡会の企画・運営等に参画し、介護支援専門員や、他の介護サービス事業者との連携を図り、質の高いサービスの提供を図るための研修会や情報交換を行った。(介護保険サービス事業者連絡会への参加・年 11 回)

(ウ) 中地域医療・介護ネットワーク会議の開催

医療と介護の「顔の見える関係づくり」による円滑な連携を推進するため、三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）、訪問看護ステーション、訪問リハビリ事業所、病院の地域連携室など医療分野の関係者と福祉・介護分野の関係者が一堂に会する会議を開催し、症例検討、グループワーク等を実施した。(全体会 年 4 回、世話人会 年 4 回)

(エ) 認知症高齢者等の地域支援体制づくり

認知症地域支援推進員が中心となり、認知症高齢者を支えるための基盤づくりとして、地域住民や企業・団体を対象にした認知症サポーター養成講座・フォローアップ講座等の開催、及び地域における認知症に対する理解の促進のための事業の調整及び協力を行った。(年 22 回)

(オ) 認知症初期集中支援の実施

認知症初期集中支援チーム員が中心となり、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援を行った。(年 23 件)

(カ) 地域包括支援センター連絡会への参加

包括的支援事業の実施状況や介護予防事業の進捗状況の報告及び情報交換のために、市が開催する連絡会に参加した。(年 11 回)

(キ) 介護支援専門員に対する支援

随時地域の介護支援専門員からの個別相談に応じ、支援困難事例への助言やサービス担当者会議の開催支援等の対応を行った(年 103 回)。

(ク) 自立支援型地域ケア会議の開催

専門職間のネットワーク構築や介護支援専門員のスキルアップ、地域課題の発見・把握などを目的として会議を開催した。(年 9 回)

(ケ) 個別地域ケア会議の開催

在宅介護支援センター・生活支援コーディネーター・民生委員等の関係者と共に、個別ケースの検討を通じて、地域課題の抽出・課題解決方法についての協議を行った。(年 3 回)

(コ) 医療・介護連携地域ケア会議の開催

中地域医療・介護ネットワーク会議世話人会に併せて開催。在宅医療・介護連携支援センターつなぐとも連携を図り、医療・介護の連携における課題の抽出等を行った。(年 4 回)

(サ) 地区地域ケア会議への参加

在宅介護支援センター運営協議会や地域ケアネットワーク会議を通じて、または在宅介護支援センターが独自に地域の介護支援専門員や民生委員等を招集して会議を開催する等、管内の在宅介護支援センターが主催する会議に参加し、地域課題の抽出・課題解決方法の検討を行った。(年 16 回)

(シ) 地域密着型サービス事業所運営推進会議等への参加

事業所による利用者の抱え込みを防止するとともに、地域の連携が確保され、かつ地域に開かれたサービスとすることでサービスの質の確保を図ることを目的として開催される運営推進会議等に市職員と交代で出席した。(年 65 回)

(ス) 中地域 在宅介護支援センター医療職交流会の開催

管内の在宅介護支援センター医療職間の顔の見える関係づくりや連携強化を目的として研修会や意見交換会などを開催した。(年 3 回)

(セ) 中地域包括支援センター職場内研修の実施

職員の資質向上を目的に介護予防ケアマネジメントや障害福祉サービスなどについての研修を行った。(年 5 回)

③要支援者ケアプラン及び総合事業ケアマネジメント

要介護認定で要支援 1・2 と認定された方と基本チェックリストで事業対象者と認定された方に対して、自立に向けた目標を明確にした介護予防プランを作成し支援を行った。

<介護予防プラン件数>

年間 14,910 件 (月平均 1,243 件)内、他事業所への委託分 5,722 件 (月平均 477 件)

要支援者ケアプラン件数 (予防給付) … 7,822 件 (内委託 3,446 件)

総合事業ケアマネジメント件数…	ケアマネジメントA	6,179 件 (内委託 2,067 件)
	ケアマネジメントB	847 件 (内委託 167 件)
	ケアマネジメントC	62 件 (内委託 42 件)

④地域支援事業における介護予防事業

・地域づくりによる介護予防推進事業

地域での住民主体の通いの場の育成、介護予防の取り組み支援を行う一環として、介護予防推進員が中心となり、「いきいき百歳体操」の周知、活動支援を行った。「地域で元気アップ!住民説明会」(年 11 回)、「いきいき百歳体操」活動立ち上げ集中支援 (年 10 ヶ所)、自主活動継続支援「介護予防講座」(年 33 回)を実施した。

⑤参加研修等

三重県介護支援専門員「専門研修課程Ⅱ」… 参加 1 名

三重県介護支援専門員実務研修 … 参加 2 名

三重県主任介護支援専門員更新研修 … 参加 1 名

地域包括支援センター職員専門研修 … 参加 1 名

ケアマネジャー向け研修 (6 回) … 参加 14 名

災害時こころのケア研修 … 参加 2 名

認知症ケアセミナー … 参加 1 名

全国若年性認知症フォーラム・若年性認知症研究会 … 参加 2 名

地域で支える認知症看護研修 … 2 名

地域福祉実践力向上研修 (3 回) … 参加 1 名

成年後見申立支援研修 … 参加 1 名

介護予防従事者研修 … 参加 1 名 等

⑥実習生の受け入れ

平成 31 年度は実習生として看護学生 7 人の受け入れを行った。

(2) 訪問介護事業所

在宅において、日常生活に支障のある高齢者、障害者に対して身体介護や生活援助のサービスを行い安心して在宅生活が送れるよう、また自立支援を目的としてサービスを実施した。

①介護保険訪問介護サービス

・訪問介護事業（介護予防事業・総合事業現行相当サービス含む）の実施

●介護保険・訪問介護サービス介護度別利用者人数（月ごとの集計）

年 度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
31 年度	316 人	109 人	19 人	23 人	46 人	513 人
30 年度	323 人	126 人	55 人	40 人	48 人	592 人

●介護予防訪問介護サービス区分別利用者数（月ごとの集計）

年 度	要支援 1	要支援 2	介護予防訪問介護	合 計
31 年度	269 人	294 人	126 人	689 人
30 年度	360 人	302 人	0 人	662 人

●介護保険・訪問介護サービス内容別延利用回数

年 度	生活援助	身体介護	身体生活	合 計
31 年度	1,884 回	3,185 回	1,170 回	6,239 回
30 年度	2,363 回	4,432 回	1,236 回	8,031 回

●総合事業サービス延利用回数

年 度	総合事業
31 年度	3,663 回
30 年度	3,658 回

②障害福祉サービス

・居宅介護事業の実施

●居宅介護サービス利用者数（月ごとの集計）

区 分	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
31 年度	310 人	75 人	195 人	580 人
30 年度	303 人	99 人	223 人	625 人

●居宅介護サービス内容別延利用回数

区 分	家事援助	身体介護	合 計
31 年度	2,373 回	4,821 回	7,194 回
30 年度	2,460 回	5,151 回	7,611 回

(3) 通所介護事業所「ゆりかもめ」

- ・「利用者の自立支援」「利用者による選択（自己決定）」「利用者本位」を基本理念に、安全・安心で信頼されるサービスを目指し、食事の提供、入浴、送迎、生活に関する相談・助言、健康状態の確認、その他利用者に必要な日常生活上の支援、並びに機能訓練を提供した。
- ・登録者数 1,796 名、延べ利用者数 9,107 名、一日平均 31.3 名（昨年 33.1 名）となった。要介護 1、要介護 2 の利用者が全体の約 6 割を占めた。
- ・基準緩和通所型サービス A や、「ほんわかカフェ（認知症カフェ）」、小地域サロン等への出前講座等

で地域住民に知って頂く機会を積極的につくり、ゆりかもめの通所介護を利用したいと相談に来る利用者や家族が増加した。

●月別利用者数(名)及び営業日数(日) (介護保険・障害者・障害児含む)

31 年 度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	登録 者数	134	136	140	142	144	146	151	153	157	160	166	167	1,796
	延利用 者数	727	683	777	847	768	721	750	756	794	767	738	779	9,107
	営業 日数	24	23	25	26	26	23	25	24	24	23	23	25	291

30 年 度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	登録 者数	163	164	168	172	172	175	180	187	122	125	128	131	1,887
	延利用 者数	792	788	868	856	891	797	883	797	745	731	790	781	9,719
	営業 日数	24	24	26	25	26	23	26	24	24	23	23	25	293

介護保険事業では延べ 9,719 人の利用があり、要介護は74% (昨年72%) 介護予防24% (昨年28%) であった。

●介護予防通所介護サービス区分別延利用者人数

年 度	要支援1	要支援2	合 計
31 年度	857 人	1,129 人	1,986 人
30 年度	1,078 人	1,275 人	2,353 人

●介護保険通所介護サービス介護度別延利用者人数(%)

年 度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
31 年度	4,193 人 (62)	1,177 人 (17)	698 人 (10)	487 人 (7)	253 人 (4)	6,808 人 (100)
30 年度	3,936 人 (55)	1,159 人 (16)	1,202 人 (17)	512 人 (7)	350 人 (5)	7,159 人 (100)

●基準緩和通所型サービスA (ゆりかもめA)

要支援状態又は事業対象者である方に対し、残存機能を生かし可能な限り居宅において自立した日常生活を営めるよう心身の機能維持・向上を目指し、他者との交流、高齢者ストレッチ、健康講座、脳トレ等を中心としたサービスを提供した。

地域に根ざした活動を展開し、利用者数が大きく増えた。

31 年 度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用 者数	25	26	29	30	31	28	30	26	29	32	30	25	341
	延利用 者数	89	74	93	102	88	82	87	86	93	89	92	86	1,061

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30 年 度	利用 者数	19	20	18	22	20	19	22	21	20	22	24	26	253
	延利用 者数	57	55	64	64	79	51	72	59	60	48	78	90	777

<障害児・者デイサービス事業>

障害児に学校休業日や放課後の日中活動の場を提供するとともに、保護者のレスパイト（休養）等を目的として、介護保険のデイサービス事業所等が活用できる「基準該当放課後等デイサービス事業所」の利用施設として障害児を受け入れた。また、障害者に対する「基準該当生活介護事業所」の利用施設として障害者の受け入れも行った。

●基準該当放課後等デイサービス事業利用者数（障害児）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
31 年 度	利用 者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	延利用 回数	4	2	4	2	2	2	2	2	3	3	3	4	33
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30 年 度	利用 者数	1	1	1	1	2	1	1	0	1	1	0	2	12
	延利用 回数	3	2	4	3	6	2	2	0	2	1	0	7	32

●基準該当生活介護事業利用者数（障害者）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
31 年 度	利用 者数	2	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	3	42
	延利用 回数	20	21	26	24	25	24	25	24	27	27	18	19	280
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30 年 度	利用 者数	1	1	2	2	2	2	3	4	3	3	3	2	28
	延利用 回数	9	11	15	11	13	11	11	18	18	20	20	15	172

(4) くす在宅介護支援センター

①総合相談

四日市市からの委託を受けて楠地区を担当エリアとし、高齢者・障害者等の各種相談に対応した。相談内容に応じて、介護保険サービスのほかに高齢者福祉サービスの申請代行及びインフォーマルサービスが利用できるように調整を行った。

また、平成31年度から訪問給食を受託した。実績 4,124食（昼食：1,415、夕食：2,709）。

<相談件数>

	本人	家族	その他	合計
来 所	117	131	56	304
訪 問	512	15	19	546
電 話	117	218	319	654
合 計	746	364	394	1504

<昨年度実績>

	本人	家族	その他	合計
30 年度	425	194	172	791

②地域介護予防普及啓発、福祉活動推進事業

- ・転倒骨折予防教室「こけねえずクラブ」の開催(毎月：第1・3水曜日) 参加者：平均31.2名/月
- ・若がえり体操教室(毎月第2火曜日) 参加者：平均14名/月
- ・地域行事への参加
街角くらぶ、老人クラブの集まり等へ参加し、在宅介護支援センターのPR、消費者被害の情報提供や、介護保険制度の説明、介護予防体操、認知症予防等の出前講座を実施した。
- ・家族介護者の集い「ほんわかカフェ(認知症カフェ)」の開催 毎月1回(3月は中止)
4月：26名 5月：36名 6月：37名 7月：41名 8月：24名 9月：29名 10月：7名
11月：28名 12月：8名 1月：27名 2月：9名 合計：272名
- ・「街角カフェ」運営協力
- ・住民主体通所型サービス団体「楠の木サポート通所事業所」の運営支援
- ・楠地区民生委員児童委員協議会定例会への参加(毎月第2木曜日)
- ・楠地区社会福祉協議会総会への参加
- ・「楠こどもフェスティバル」「子育てGO!」「くすりんフェスタ」「ふれあい昼食会」への参加
- ・楠地区内居宅介護支援事業所情報交換会の開催

③介護予防推進事業

- ・「介護予防意識啓発講座」の開催
出前講座形式で実施
実施回数：全26回開催

④地域ケア会議の開催

- ・各団体代表による地域ケア会議 令和元年9月6日(金)
- ・ミニ地域ケア会議 令和2年1月31日(金)
- ・各団体代表による地域ケア会議 令和2年3月11日(水)

(5) 居宅介護支援事業所

近年、虐待、ターミナル、認知症独居、若年ケース等さまざまな環境におかれた利用者が増えてきている。また、介護者への支援も必要なケース(介護者が認知症、精神疾患、未成年など)もあり、多職種多様の事業所や関係機関と連携調整が必要となってきたなか、利用者ニーズに即した質の高いサービスを提供する事を目標にマネジメントを行い、居宅サービス計画を作成した。

	居宅サービス計画(ケアプラン)作成件数	一ヶ月平均件数
31 年度	居宅サービス計画作成 566 件 介護予防プラン作成 144 件 マネジメントA、B作成 25 件	61.3 件

30 年度	居宅サービス計画作成	523 件	58.4 件
	介護予防プラン作成	144 件	
	マネジメントA、B 作成	34 件	

- ・介護保険サービス事業者等実地指導（1 回）
- ・四日市市介護保険サービス事業者連絡会への参加（4 回）
- ・四日市市ケアマネジャー向け研修会（2 名）
- ・三重県介護支援専門員協会 三泗支部研修会（4 回）

(6) 介護保険認定調査室

要介護認定調査にかかる事務の一部を四日市市から受託した。